

第五十九回
帝國議會
貴族院

地租法案特別委員會議事速記録第六號

昭和六年三月十七日(火曜日)午前十三時三十分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 開會イタシマス

〔森田福市君發言ノ許可ヲ求ム〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) チョット御待チ下サイ、速記中止……

〔速記中止〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 速記開始、長岡君

○長岡隆一郎君 私ノ大體問題ニ對スル質問ハ極メテ簡單デゴザイマシテ、ホンノ二三デアリマス、地租法案以下各法案ノ審議ニ這入リマシテカラシテ、法案ニ付テ多少質疑モ殘テ居リマスガ、一般問題トシテハ、他ノ委員ノ質問應答ニ依テ私ノ疑ヲ晴ラシタコトモゴザイマスカラ簡單ナ問題ヲ二三御尋ヲ致シタイ、成ルベク御答辯モ簡單ニ願ヒタイト思ヒマス、第一ハ昨年ノ特別議會ヲ通過イタシマシタ義務教育費國庫負擔金増額ノ行方デゴザイマス、是ハ現内閣ノ重要政策ノ一ツデゴザイマシテ、昨年ノ特別議會ニ於ケル先ヅ唯一ノ重要法案ト申シテモ宜イ位ノ案デゴザイマスガ、當時

政府ハ、地方税ノ負擔ハ國税ノ負擔ニ比シ過重ナルガ故ニ、右國庫負擔金ノ増額ヲ以テ地方税輕減ノ資ニ充テラレムコトヲ期スト云フ旨ノ御説明ガゴザイマシタ、是ガ議會ヲ通過イタシマシテ一千萬圓増額ニナツタノデアリマスガ、其實際ノ成績ハ國民ノ齊シク之ヲ聽カムト欲スル所デアアルノミナラズ、今回ノ減稅案ヲ審議スルニ付キマシテモ重要ナル參考ニナル問題デアラウト私ハ考ヘテ居リマス、政府ハ衆議院ノ減稅案ノ特別委員會ニ於キマシテ、義務教育費國庫負擔金一千萬圓ノ増額ノ中約九百八十萬圓ヲ地方税ノ負擔輕減ニ充當シタリト云フ旨ヲ御答辯ニナツテ居リマス、是ハ二月十二日ノ衆議院特別委員會速記録二十九頁、合計九百七十九萬餘圓ヲ負擔輕減ニ充當シテ居リマス同頁、合計九百七十九萬圓ガ負擔輕減ニナツテ居リマス此御答辯ハ其儘承テ宜シイノデゴザイマス、今日デモ同ジ御答辯ヲ聞達ガナシ……ソレヲ伺ヒタイ

○國務大臣(安達謙藏君) 義務教育費國庫負擔金一千萬圓ノコトハ大體ニ於テ御話ノ通りデ宜シウゴザイマス、其九百七十九萬圓ト御答ヘシタノハ、其時ハサウ御答ヘ致シマシタガ、其後ノコトハ今地方局長カラ御答ヘスルコトニ致シマス

○長岡隆一郎君 大臣カラ衆議院ノ答辯デ大體宜シイト斯ウ云フ御答辯デ満足イタシマス、然ラバ衆議院ニ於ケル政府ノ九百七十九萬圓餘ヲ地方税ノ負擔輕減ニ充テタト云フコトヲ前提トイタシテ、ソレヲ信ジテ質問ヲ致シマス、私ハ義務教育費國庫負擔金増額ニ因ル各都市減稅種目別金額竝ニ輕減調、之ヲ本委員會開會ノ初ニ要求イタシテ置キマシタガ、マダ戴キマセヌ、ソコデ已ムヲ得ズ政府ガ衆議院ニ御配付ニナリマシタ……只今私ダケニ戴キマシタガ、マダ目ヲ通シテ居リマセヌカラ、衆議院ニ御配付ニナリマシタ材料ニ依テ質問ヲ致シマス、只今金額ハ變リナイ、斯ウ云フコトデゴザイマス、ソレデ先ヅ此衆議院ニ於キマス御答辯ニ依リマスルト、先程申上ゲタヤウニ合計九百七十九萬圓ガ負擔輕減ニナツテ居リマス、即チ過去ノ事實トシテ九百七十九萬圓ヲ負擔輕減ニ充テラレタ旨ヲ明言シテ居ラレノデ、將來輕減スル見込ダト斯ウ云フ意味デハナイ、然ラバ政府ガ衆議院ニ御配付ニナツタ材料ニ依テ、是ダケ輕減

ニナツテ居ルカドウカ、私實際ヲ調査イタシテ見マシタ所ガ、此表ニ依リマス、東京市ニ於キマシテハ九萬九千五百七十六圓減稅ヲ致シタト云フヤウナ御調べニナツテ居ル、私ガ東京市ノ當局者ニ聽キマシタ所ガ一向減稅ノ事實モナク、又課率ヲ變更シテ更正豫算ヲ議決シタト云フヤウナコトモ聞キマセヌ、尤モ數週間前ニ聞イタノデアリマシテ其後市會デ議決ヲシテ居ルカドウカ知リマセヌガ、數週間前ニ聞キマシタ所ガ、東京市ノ當局者ノ或ル者ハ、早く更正豫算ヲ作ッテ貰ハナケレバ困ルト言ッテ、地方局長カラ御電話ガアツタガ、マダヤッテ居ナイ、斯ウ云フコトヲ申シテ居リマスガ、サウ致シマスルト、此表ニアリマス九萬九千圓ノ東京市ノ減稅ト云フモノハ一體何デゴザイマス、伺ヒタイ、此下渡金ハ既ニ義務教育費國庫下渡金ノ科目ノ中ニ東京市ハ受入レテ居リマス、一般歳入ノ中ニ這入ッテ居リマス、最早年度モ十數日シカゴザイマセヌカラ、此金ヲ減稅ノ資ニ充テ、何ヲ輕減イタシマスカ存ジマセヌガ、大概ノ稅ハモウ取ッテ居リマスカラ、各戸ニ二錢カ三錢ヅ、返シテヤルモノデゴザイマセウ

カ、ソレトモ最近ニ至リマシテ此表ニアル如ク九万九千圓ノ減税ト云フモノヲ東京市ノ議決シテ居リマス。カドウカ之ヲ伺ヒタイ、ソレカラ神奈川縣ノ横濱市ニ於キマシテ、政府ノ御配付ニナリマシタ書類ヲ見マスルト云フト、一万九千二百二十九圓ト云フモノヲ減税シタル如ク書イテアリマス、是ハ私ハ神奈川縣ノ縣廳ノ友人ニ問合セテ見タ所ガ、一向減税ハシテ居ナイ、却テ實ハ斯ウ云フ書類ガ出テ困テ居ルト云フコトヲ言テ居リマス、横濱市長カラ神奈川縣知事ニ宛テタ書類「第一四〇六號、昭和五年九月十七日、横濱市長有吉忠一、神奈川縣知事山縣治郎殿、市町村義務教育費國庫負擔法改正ニ關スル件、七月九日附五地第二八四九號ヲ以テ法律改正ニ依ル義務教育費國庫下渡金増加額ヲ市税輕減ノ資ニ充當スベキ旨御通牒ニ接シ候ニ付テハ本市ニ於テモ亦右法律改正ノ御趣旨ニ副フ爲慎重考慮致候處御承知ノ如ク本市ハ往年ノ大震災災ノ創痍極メテ深刻ナリシニ加ヘ逐年財界不況ニ因ル打撃甚大ニシテ財政愈々窮迫ヲ告クルニ至リ候爲ニ政府ニ申請シテ震災關係市債ノ利子補給其他ニ付國家ノ救援ヲ請フト共ニ震災以來累積シタル歳入缺陷ノ補填ニ充ツベク昭和四年度ニ於テ三百三十餘萬圓

ノ起債ヲ議決シ之ガ許可申請中ニアルガ如キ現狀ニ有之從テ昭和五年度豫算ノ編成ニ當リテモ其收支ノ均衡ヲ圖ルニハ増税ノ已ムナキ實情ニ在リシニモ拘ラズ現在市民ノ負擔力ニ照シ之ヲ避クルノ方針ヲ以テ極力收支ノ調節ヲ圖ルコトトシタルガ爲本件國庫下渡金ノ如キモ法律改正ノ結果ヲ豫想シ既ニ當初豫算ニ之ガ増加額ヲ見込ミ計上シタル次第ニ候尤モ今回御通知ニ係ル交付決定額ハ當初豫算計上額ニ比シ一万九千二百二十八圓増加致居候而シテ昭和五年度收入ノ實蹟ヲ見ルニ財界不況ノ影響豫想以上ニシテ市税收入、税外收入共ニ相當ノ減少ヲ來スベク從テ歳出ノ節約ニ關シ考慮致居候モ結局増税スルニ非ザレバ歳入ニ不足ヲ免レザルガ如キ狀況ニアルヲ以テ前記豫算超過額ハ之ヲ直ニ減税ニ充ツルコトナク今後ノ増税ヲ避ケ以テ市民ノ負擔ヲ輕減スル資ニ供シ度候條右事情御諒察相仰度此段上申候也」是ハ御目ニカケテ宜シウゴザイマス、其上申書ガ出テ縣廳デハ困リマシテ處置ニ弱シテ居ル、從テ此超過額、此表ニアリマス一万九千二百二十九圓ト云フモノヲ横濱市ニ於テハ未ダ減税ニ充テ、居ナイ、斯ウ云フ調査ヲ回答シテ寄越シマシタガ、私ノ調査後ニ、横濱市ニ於テ或ハ更正豫算ヲ作

リ、課率ヲ變更シテ居レバ別ト致シマシテ、私ノ調査シタ所デハ、此表ニ現ハレテ居リマスル……衆議院ニ御配付ニナッタ表ニ現ハレテ居リマスル東京市及横濱市ニ於テ此義務教育費國庫負擔金増額ニ因ル下渡金ヲ以テ減税シタ事實ガ無イヤウニ承知イタシテ居リマスガ、此點御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(次田大三郎君) 衆議院ノ減税ノ委員會デ、義務教育費國庫負擔金ノ行方ハドウナッテ居ルカト云フ御質問ニ對シマシテ、私カラ答辯ヲ致シマシタノデアリマス、ソレハ外ノ費途ニ當テタト考ヘタモノガ四十萬圓餘リ、是ハ今通牒ナリ照會ナリヲ發シテ、負擔輕減ニ當テルヤウニト云フコトヲ地方團體ニ申シテヤッテ居リマス。云フコトヲ答ヘタノデアリマス、而シテ其外ノ九百七十九萬圓餘ハ負擔輕減ニナル譯デアルト云フ意味デ御答辯ヲ致シタノデアリマス、其後衆議院ノ方デ更ニ御質問ガアリマシテ、其内譯ヲ申上ゲタノデアリマス、ソレハ現實ニ負擔輕減ニナリマシタ金額ガ八百六十三萬二千餘圓、ソレカラ一度負擔輕減ニ當テマシテ、其後必要ニ應ジテ追加豫算ヲ組ミマシテ、其財源ヲ税ニ求メマシテ、結局負擔輕減ガ相殺サレテ、現在ノ所デハ……一度負擔輕減ヲシタノデアリ

マスガ、現在ノ數字ニ現ハレナイモノガ五十三萬六千圓アリマシタ、ソレカラマダ負擔輕減ノ處置ハ執ッテ居リマセスガ、他ノ費途ニモ充當シテ居ナイ金ガ六十二萬八千圓餘リアルト云フコトヲ、只今御引キニナリマシタ答辯ノ數日後ニ、委員會デ答辯イタシタノデアリマス、ソレデ此處分未済ニナリマシタ分ニ付キマシテハ、丁度二月ニ國庫下渡金ガ全部市町村ノ手ニ這入リマスル譯デアリマスカラ、從來モ早ク負擔輕減ヲスルヤウニト云フ通牒ハ數回出シタノデアリマスルガ、尙ホ二月ノ下旬ニ通牒ヲ出シマシテ、是非負擔輕減ニ充テ、貰ヒタイト云フコトヲ、處分未済ノ市町村ニ申シテヤリマシタノデアリマス、只今御話ノ東京市、横濱市ハ處分未済ニナッテ居ル譯ナノデアリマスルガ、併シハ外ノ費途ニ充當シタト云フ譯ニハナッテ居ナイノデアリマス、唯横濱市、東京市ノ財政狀態ハ、此金ヲ假ニ負擔輕減ニ充テマシテモ、同時ニソレダケノ増税ヲシナケレバ途ガナイト云フ狀態ニナッテ居リマスルノデ、是ハ税ヲ減ズルト云フ手續ハ執ラナイデ、歳入缺陷補填ニ充テハ市民ノ負擔ヲソレダケ輕減スル、増スベキ負擔ガソレダケ輕減スルト云フコトニ

ナルノデアルカラ、歳入缺陷ヲソレダケノ金ヲ補填スルト云フコトニ認メテ貫ヒタイト云フ書面ガ出テ居ルノデアリマス、是ハ或ハ已ムヲ得ナイコトニナリハシナイカト今折角調査イタシテ居ル所デアリマス

○長岡隆一郎君 私ハ只今ノヤウナ御答辯ヲ承ル先ニ、内務大臣ニ對シテ、二月二十二日ノ政府ノ御答辯、九百七十九萬圓ガ負擔輕減ニオツテ居リマス、一千万圓ノ内デ九分八厘……九割八分マデ負擔輕減ニ充テ、

居ル、斯ウ御答辯ガアリマシタガ其通りカト云フコトヲ確カメマシタ所ガ、大體其通り、斯ウ云フコトデゴザイマシタカラ、只今證據ヲ擧ゲテ其然ラザル所以ヲ質問イタシタノデアリマス、所ガ先程ノ内務大臣ノ御答辯ニ反シテ九百八十萬圓ハ減稅ニ充テタノデナイ、ソレハ間違ヒダ、斯ウ仰シヤイマシタカラ、ソレナラソレデ宜シウゴザイマス、併シ只今配付ヲ受ケマシタ書類ヲ拜見シマス、マダ腑ニ落チナイコトガゴザイマス、大阪市ノ例ヲ此頂戴シタ書類デ

見マス、家屋稅附加稅ガ十一萬六千七百九十圓、地租附加稅ガ一万四千七百七十七圓、營業稅附加稅ガ一万一千四百三十一圓ヲ輕減シタトシテ、其額ヲ明瞭ニ御掲ゲニナッテ居ル、私大阪市ニ對シテ取調ベテ見マシタ

所ガ、昨年ノ九月二十七日市會デ議決シテ居リマス營業稅附加稅ノ輕減額ハ、政府ノ御發表ノ數字ノ通りデアリマス、外ノ二ツハ相違イタシテ居リマス、地租ノ附加稅ノ輕減額ノ相違ハ僅カデゴザイマスカラ、是ハ或ハ政府ノ謄寫誤リトシテ認メテモ宜シウゴザイマス、家屋稅ノ附加稅ハ議決錄ニ依ルト、實際ハ七萬六千九百五十圓ニナッテ居リマス、然ルニ政府デハ十一萬六千七百九十圓ト御發表ニナッテ居、テ、約四萬圓多ク見積テ居ラレマス、是ハ此處ニ大阪市會ノ議案ト議決錄トヲ持ッテ居リマス、大阪市會議案第百七十二號デアリマス、而シテ

大阪ノ市會議員ニ問合セマシタ所ガ、此後ニ義務教育費國庫負擔金増額ニ因ル豫算ノ更正ハ議決シタ記憶ガナイト申シテ居リマスガ、其後四萬圓ヲ更ニ二回目ニ議決ヲ致シテゴザイマセウカ

○政府委員(次田大三郎君) 此點ハ一度此表ヲ作りマス前ニ大阪府ノ方ヘ照會イタシマシテ、ソレカラ來マシタ回答ヲ此數字ニ掲ゲタノデアリマス、而シテ尙ホ衆議院ノ委員會デ、是等ノ數字ガ少シオカシイ、ドウモ實際ニ副ハナイヤウナ感ガアルト云フ御話ガアリマシタカラ、更ニ其後電信ヲ以テ、アノ回答ニ相違ナイカ、モウ一度調ベ

テ寄越スヤウニト云フ照會ヲ發シマシタ所ガ、其回答ニ相違ナイ、先ニ出シタ回答ニ相違ナイト云フ回答ヲ得テ居ルノデアリマス、只今ドウ云フ所デ御話ノ四萬圓ノ相違ガ出來タカト云フコトノ調べハ持ッテ居リマセスガ、是ハ取調ベテ御答ヲ致スコトニ致シタイと思ヒマス

○長岡隆一郎君 此所ニ議案、議決錄ヲ持ッテ居リマスカラ、御必要ナラバ貸シテ差上ゲマス、取調ベテ答ヘルト云フコトデアリマスレバ、サウシテ頂キタイ、次ニ松江市デゴザイマス、政府ノ發表サレタ書類ヲ見レバ、當初豫算ニ於テ國庫下渡金増額ヲ財源トシテ、戶數割一戸當リ五十一錢二厘ヲ減ジタトゴザイマス、然ルニ内務省デ御印刷ニナッタ地方財政概要ヲ見マス、松江市ノ義務教育費國庫下渡金ハ昭和四年度豫算計上額三萬五千五百一十一圓デ、五年度ノ豫算計上額ハ三萬二千九十八圓デアリマシテ却ッテ五年度ノ方ガ二百五十三圓ヲ減少計上シテ居リマス、此頂イタ表ガ間違デゴザイマスカ

○政府委員(次田大三郎君) 此數字ハ取調ベテ見ナイト分リマセスガ、昭和四年度ニ計上シマシタ數字ハ、豫算ヲ書イタノデア

リマス、今御讀ミ上ゲノ分ハ……

○長岡隆一郎君 豫算デスカ、決算額デスカ

○政府委員(次田大三郎君) 兩方トモ豫算デアリマス、此義務教育費ノ國庫負擔金ノ豫算ヲ計上シマス時分ニハ、ドノ位アルドラウト云フ見込デ、各團體デ計上イタシマス、昭和四年度デ此位アルドラウト云フコトデ計上イタシマシテモ、事實ソレダケノ收入ガアリマセヌ場合ニハ、昭和五年度ニ於テ其見込額ヲ減ズルト云フコトハ能クアルコトデアリマス、唯松江市ノ場合ガサウ云フ場合デアルカドウカト云フコトハ、是モ取調ベタ上デ御答ヲ致シマス

○長岡隆一郎君 總テ御取調ノ上御答ヘ下サルト云フコトデアレバ、ソレデ結構デアリマス、私ガ實際照會イタシマシタノハ三十四ノ市デアリマスガ、何レモ表ト違ッタ回答ガ來ルノデアリマス、若シ此儘ナラバ内務省ノ御作りニナル統計數字ト云フモノガ、或ハ信用シ得ザルヤウナコトニナリハセヌカ、他ノ議案ニ付キマシテモ、色々御配付ニナッテ居ル數字ガ、ドウモ信賴シ兼ねルヤウナリハセヌカト云フコトヲ私憂ヘテ居リマシタガ、若シ御取調ノ結果、本員ノ心配ガ無クナリマスレバ誠ニ仕合せデアリマ

ス、唯今日頂イタ表デモ、此題號ハ「義務教育費國庫負擔金増額ニ因ル各都市減稅種目別金額並課率輕減調」ト云フ題デゴザイマス、而シテ其中ノ其他ト云フ所ニ書イテアル、其處ヲ見ルト云フト、戶數割、家屋稅附加稅、其他色ミナ地方稅ヲ掲ゲテ居リマスガ、是ハ其他ノ稅ノ輕減ノ如クニシカ見えナイ、所ガ今ノ其他ノ欄ニ掲ゲテアル三十五萬圓、是ハ減稅種目別デモナケレバ、減稅種目金額デモナイ、外ノ方ノ歲入ニ入ッタモノモアレバ、減稅スル爲ニ歲入減ニ充テタト云フヤウナモノモ入ッテ居ル、此處ニ其他ト云フコトヲ御書キニナルノハ、甚ダ人ヲ惑ハセルヤリ方デヤナイカト思フ、マアソレハ大シタコトデヤアリマセヌカラ、ソレダケニ止メテ置キマス、モウ一ツ伺ヒタイ、御配付ニナリマシタ調査書類ニ付テ、

ト昭和五年度ニ於テ地方稅三千萬圓、一戶當リ二圓五十錢ヲ輕減セリ、此御言明ハ今日ニ於テモ其通リト承知シテ宜シウゴザイマス、或ハ御取消ニナリマスカ

マダ一點疑ガアリマス、内務大臣ハ衆議院ノ豫算總會ニ於テ、昭和五年度ニ於テハ地方稅三千萬圓ヲ輕減セリ、而シテ一人當リ二圓五十錢ヲ輕減セリ、斯ウ云フ御說明ニナッテ居リマス、後ニ衆議院ノ減稅案ノ特別委員會ニ於キマシテハ、一戶當リ二圓五十錢ノ輕減デアルト云フヤウニ御訂正ニナッテ居リマス、是ハ後ノ方ノ一戶當リノ方ガ恐ラクハ本當ダラウト思ヒマス、サウスル

○國務大臣(安達謙藏君) 其通リデアリマス

○長岡隆一郎君 其通リト云フコトデアレバ伺ヒマスガ、其内容ハ速記録デ見タノデアリマスガ、府縣稅ノ減稅ガ九百二十二萬圓、市稅ノ増稅ガ三百五十三萬圓、町村稅ノ輕減ガ二千四百五十一萬圓、差引三千二十萬圓ノ減額、斯ウ云フヤウニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(安達謙藏君) ソレデ宜シウゴザイマス

○長岡隆一郎君 是モ私仔細ニ調査イタシテ見マシタガ、府縣稅ノ九百二十二萬圓ハ、確カニ統計上、四年度ニ比シテ五年度ニ於テ減ジテ居リマス、併シ是ハ數字上減ジテ居ルダケデ、之ヲ減稅ニ充テタ、負擔ヲ輕減シタ、斯ウ云フ御言明ハ少シドウカト思フ、是ハ衆議院デモ問題ニナッタヤウデアリマスガ、其中ノ百六十二萬七千六百八十五圓ト云フモノハ、大阪府ノ都市計畫特別稅ガ、從來大阪府ノ一般會計ニ計上セラレテ居、タガ、昭和五年度以降ハ之ヲ特別會計ニ

○國務大臣(安達謙藏君) 移シテ居ル、内務省ノ地方財政概要ハ、府縣ノ一般會計ダケ計上シテ、特別會計ト云フモノハ之ヲ計上シテナイノデアリマス、唯四年度ヨリ五年度ハ地方財政概要ヲ見マスト如何ニモ九百二十二萬圓減少シテ居ルヤウニ見エマスガ、併シ大阪府ノ都市計畫事業ガ御止メニナッタ譯デモナケレバ、大阪府民ガソレニ依テ租稅ヲ輕減サレタノデモナイ、唯内務省ノ統計ノ作り方、大阪府ノ豫算ノ組方ガ違、テ居ル爲ニ、此百六十二萬餘圓ト云フモノガ大阪府ノ一般會計ニ計上サレナカッタ、其結果、一般會計ダケ統計ニ上セテ居ル、地方財政概要デハ、是ダケ金額ガ減、タヤウニナッテ居ル、大阪府民ノ負擔ハ少シモ變ラナイ、地方財政概要ノ統計ニ現シテナイダケデアッテ、特別會計ニハ殘、テ居ル、是モ矢張り減稅ノ中ニ御加ヘニナッテ居ルヤウニ私ハ承ッテ居ルノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(次田大三郎君) ソレハ内務省ノ統計ノ作り方ガソレダケハ間違、テ居リマス、間違デアリマス

○長岡隆一郎君 サウスルト只今九百二十二萬、府縣稅ノ輕減シタ、斯ウ云フ内務大臣ノ御言明ハ御間違デアッテ、其内百六十六萬圓ダケ差引イテ出サナケレバイケナイ、斯

ウ云フヤウニ心得テ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(安達謙藏君) サウデス

○政府委員(次田大三郎君) 是ハ御承知デゴザイマセウガ、今マデ地方財政概要ヲ編纂シマス時ニ特別會計ヲ入レナイコトニナッテ居リマシテ、前年度ト増加ニナッテ居ルカ、減額ニナッテ居ルカト云フコトハ始終今マデ地方廳ニ於テ審議シマス際ニ、常ニ地方財政概要ノ數字ニ依ッテヤッタノデアリマス、併シ嚴格ニ論ジマスレバ、御話ノ通りデ、其點ハ私共ノ粗漏ト申上ゲテ宜シイト思ヒマス

○長岡隆一郎君 粗漏ト云フ御陳謝ガアリマシタカラ、此上追究イタシマセヌ、マダサウ云フ粗漏ガ澤山アリマスノデスケレドモ、私敢テ政府ノ非ヲ暴クト云フヤウナコトガ趣旨デアリマセヌカラ、其方ハ數字ガ御間違ニナッテ居ル……是ハ故意トハ思ヒマセヌ、御過失ト思ヒマスカラ、此上追究イタシマセヌガ、只希望イタシマスノハ、決シテ是ハ皮肉ノコトヲ申上ゲル譯デモ何デモアリマセヌガ、井上大藏大臣ノ施政方針デ六千萬圓ヲ御間違ニナッタコトヲ初トシテ、ドウモ政府ノ宣傳ニナルコトガ信用出來ナイコトガ多タル、是ハ只一例ヲ舉ゲテ、今陳謝サレマシタカラ、其外ニハ申

○長岡隆一郎君 是ハ御承知デゴザイマセウガ、今マデ地方財政概要ヲ編纂シマス時ニ特別會計ヲ入レナイコトニナッテ居リマシテ、前年度ト増加ニナッテ居ルカ、減額ニナッテ居ルカト云フコトハ始終今マデ地方廳ニ於テ審議シマス際ニ、常ニ地方財政概要ノ數字ニ依ッテヤッタノデアリマス、併シ嚴格ニ論ジマスレバ、御話ノ通りデ、其點ハ私共ノ粗漏ト申上ゲテ宜シイト思ヒマス

○長岡隆一郎君 粗漏ト云フ御陳謝ガアリマシタカラ、此上追究イタシマセヌ、マダサウ云フ粗漏ガ澤山アリマスノデスケレドモ、私敢テ政府ノ非ヲ暴クト云フヤウナコトガ趣旨デアリマセヌカラ、其方ハ數字ガ御間違ニナッテ居ル……是ハ故意トハ思ヒマセヌ、御過失ト思ヒマスカラ、此上追究イタシマセヌガ、只希望イタシマスノハ、決シテ是ハ皮肉ノコトヲ申上ゲル譯デモ何デモアリマセヌガ、井上大藏大臣ノ施政方針デ六千萬圓ヲ御間違ニナッタコトヲ初トシテ、ドウモ政府ノ宣傳ニナルコトガ信用出來ナイコトガ多タル、是ハ只一例ヲ舉ゲテ、今陳謝サレマシタカラ、其外ニハ申

上ゲマセヌガ、將來國民ノ負擔ヲ是タケ輕

減シタト云フヤウナ御宣傳ヲナサル時ニハ

間違ノナイ數字ヲ御宣傳ニナルコトヲ希望

イタシマシテ、此點ノ質問ヲ打切りマス、

ソレカラ序デナガラ申上ゲテ置キタイノ

ハ、此間、井上大藏大臣ニ質問ヲ致シマシ

タ所ガ、内務省ノ政府委員モ内務大臣モ居

ラヌカラ、居ル時ニ答辯スルデアラウト云

フコトデ、其儘ニナッテ居ルコトガチヨット

ゴザイマスノデ、ソレハ簡單ノコトデゴザイ

マスカラ伺ヒマス、ソレハ此救護法ノ財源ト

シテ馬券賣得稅ニ代ヘテ府縣ニ納入シテ居

ル寄附金ガ今度無クナルト云フ風評ガア

ル、其實偽ヲ伺ヒタイ、從來、馬券賣得稅

ニ代ハル地方團體ヘノ寄附金ト云フモノハ

縣ニ對シテハ政府ヘノ納入金ノ二分ノ一、

是タケ寄附スル、市町村ニモ同様、但シ其

金額ハ市町村稅總額ノ二割ヲ超エル場合ニ

ハ其額ニ止メル、其場合ニ於テハ府縣ノ財政

上ノ都合ニ依リ、其差額ハ之ヲ府縣ニ納入

セシムルコトヲ得、斯ウ云フ農林省ト内務

省ノ間ノ御協定ガアル、今度ハ政府ニ對ス

ル競馬俱樂部カラノ納附金ガ殖エル結果、

地方團體ニ對スル納入金ハ無クナル、減ル

ト云フ風評ガアリマスガ、私ハ、ヨモヤ、サ

ウ云フコトハアルマイト信ジテ居リマスガ、

心配ノ餘リ念ノ爲ニ伺ヒマス

○政府委員(次田大三郎君) 現在、競馬俱

樂部ノ公認競馬ノ馬券ニ對シテ馬券賣得稅

ヲ許シテ居リマス、公共團體ハ橫濱市ト福

岡縣タケデアリマス、今度公認競馬ニ對シ

テ地方稅ヲ課スルコトガ出來ナイト云フコ

トニナリマスレバ、橫濱市ト福岡縣ハ其稅

ガ取レナイコトニナルト思ヒマス、今ノ御

話ノ寄附金ハ其稅トハ別ノ話デアリマス

ガ、一體、馬券賣得稅ト云フ稅ハ福岡縣デ

一度之ヲ實施シテ見マシタ所ガ、非常ナ混

雜ヲ生ジタ、一々馬券ヲ買ヒニ行キマスル

前ニ……

○長岡隆一郎君 質問タケニ御答ヘ願ヒタ

イ

○政府委員(次田大三郎君) 納メナケレバ

ナラヌト云フ關係デ、馬券賣得稅ハ外ノ府

縣ニハ許サナカッタノデアリマス、所ガ既ニ

馬券賣得稅ヲ外ノ團體ニ許サレテ居ル所ガ

アルト云フコトガ一つト、ソレカラモウ一

ツハ、公認競馬ニ於キマシテ、其拂戻金ノ

剩餘金額ガ競馬俱樂部ノ收入ニナル、非常

ニ競馬俱樂部ハ大儲ケヲスルト云フヤウナ

所カラ、其一部分ヲ府縣ニ寄附シテモ宜イ

デヤナイカト云フ話ガ府縣ト俱樂部ノ間ニ

持チ上リマシテ、農林省ノ方カラ無制限ニ

寄附金ヲ取ラレテハ困ルカラ略、其標準ヲ

決メタイト云フコトデ、農林省ト内務省ト

打合セヲシテ今御話ノ如ク、標準ハ決メテ

居リマス、サウシテ其標準ニ依ッテ現在、橫

濱、小倉以外ノ大キイ俱樂部デハ其關係府

縣ニ寄附金ハ致シテ居リマス、併ナガラ今

度競馬法ノ改正ニ依リマシテ、拂戻金ノ剩

餘金額ト云フモノハ悉ク馬券ヲ買ッタ者ニ

戻スコトニナリマシタ、從テ競馬俱樂部ニ

サウ云フ不時ノ收入ガナイト云フコトニ

ナッタノデアリマス、其結果、其寄附金ガ如

何相成リマスルカ、或ハ競馬俱樂部ガ從來

ノ如ク寄附金ヲスルコトヲ肯シジナイノデ

ハナイカト思フノデアリマス、是ハ競馬俱

樂部ガ寄附金ヲスル能力ガ無クナリマシタ

結果デアリマシテ、已ムヲ得ナイコト、考

ヘテ居リマス

○長岡隆一郎君 只今ノ御答辯ニ依リマス

ト、神奈川縣ト福岡縣ハ從來ノ馬券賣得稅

ヲ取レナクナル、其他ノ府縣ニ於テ今マデ

競馬俱樂部カラ地方團體ニ對シテ馬券賣得

稅ニ代ヘテ納メテ居ッタ寄附金ハ、競馬俱樂

部ガ負擔能力ガ無クナッタ爲ニ取レナクナ

ルダラウト斯ウ云フコトニ拜承イタシマシ

タガ、サウシマス、是ハ矢張り縣費ノ國

庫下渡金ノ減少ニ依ッテ、國庫ガ幾ラカ地方

團體カラ取上ゲテ救護法ノ財源ニ充デルト

同ジヤウニ、競馬法ノ改正ニ依ッテ國庫ガ幾

ラカ金ヲ餘計ニ御取リニナル、併シ從來地

方ガ取ッテ居ッタノガ取レナクナル、是ハ端

的ニ言ヘバ、從來ノ地方ノ收入ノアツタモノ

ヲ減ラス、無クス、國庫ガ殖エル、モット露骨

ニ言ヘバ、地方ノ收入ヲ國庫ニ取上ゲルト

云フ結果ニ相成リ、救護法ノ施行ノ爲ニ國

庫ガ三百万圓、地方團體ガ三百万圓負擔ス

ルト云フコトヲ昨日承リマシタガ、其國庫

ノ負擔スル三百万圓ト云フモノハ純粹ノ國

庫ノ中カラ出スノデハナクシテ、今マデ地

方團體ノ方ニアツタモノヲ取上ゲテ幾分出

ス、即チ地方ハ三百万圓ヲ新ニ負擔スル以

外ニ、從來ノ收入ヲ國庫ノ懷ロニ取上ゲラ

レル、國庫下渡金ニシテモ、馬券賣得稅ニ

シテモ、ソレガ國家ノ救護法施行ノ財源ニ

ナル、金額ノコトハ別ト致シマシテ大體サ

ウ云フ成行ニナルカト存ジマスガ、是ハ大

臣カラ御答ヘ願ヒタイ、サウ心得テ宜シウ

ゴザイマスガ

○國務大臣(安達謙藏君) 今政府委員ガ御

答ヘ致シマシタヤウニ、橫濱市ト福岡縣タ

ケデアリマス、地方稅トシテ取ッテ居ッタノ

ハ……ソレデソレヲドウシテ補填スルカト

云フコトニナリマスガ、ソレハ内務省ト致

シマシテハ、横濱市ニ對シテハ昭和六年度ノ行政財政ノ整理ニ依ッテ幾分國庫ニ餘裕ヲ生ジマスカラ、其時ニ神奈川縣ハ横濱市財政ノ救済ノ爲ニ相當ノ國庫ヲ補給スルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマス、ソレカラ福岡縣ノ方ハ六万七千圓デスカ、馬券ノ賣得稅ノ收入豫算ハ五萬圓、併シ地方競馬ノ觀覽稅ヲ取ル積リデ居リマスカラ、地方稅ト觀覽稅デ今ノ缺陷ヲ填メヤウト云フ考デ、地方競馬ハ福岡縣ニ行キマスト、地方競馬ノ入場券ノ賣上高ガ百三十五萬圓ニナッテ居リマス、其百分ノ五ヲ觀覽稅トシテ取ラウ、是デ行キマスト、今マデノ五萬圓ノモノガ、百分ノ五……百三十五萬圓ノ百分ノ五ヲ取リマスト、尙ホ一万七千圓バカリノ剩餘ヲ生ズルヤウナ計算ニナッテ居リマス、サウ云フ工合デ地方競馬ノ觀覽稅ヲ以テ補填シテ行カウト云フ大體考ヲ持ッテ居リマス

○長岡隆一郎君 私ハサウ云フコトヲ實ハ伺ッテ居ルノデヤナイ、其因テ生ズル……地方ノ財政ニ缺陷ヲ生ズルカト云フコトノ御答辯ヲ煩ス積リデナカッタガ、私ノ問方ガ甚ダ拙デアリマシタ爲ニ、誤解ヲ起シタカモ分リマセヌ、私ノ伺ッテ趣旨ハソレデナクシテ、救護法ノ施行ノ財源トシテ、三百萬圓

國庫カラ財源ヲ御捻出ニナル、所ガ其國庫カラ御捻出ニナル三百萬圓ノ何分ノ一カハ存ジマセヌガ、兎ニ角今マデノ地方ノ收入ト云フモノヲ減ジテ、而シテソレヲ國庫ニ移シテ、國庫ニ持ッテ來テ、ソレヲ支出スルト云フヤウナ結果ニ、端的ニ言ヘバナリマスカ、是ハ國庫下渡金ニ付テモ、馬券賣得稅及ビ競馬俱樂部ノ寄附金ニ付テモ同ジデアリマサガ、結果ニ於テハ今マデ地方ガ得テ居ッタ收入ト云フモノガ無クナル、國庫ガ收入ガ殖エテ……之ヲモット直接ニ言ヘバ、地方ノ收入ト云フモノヲ國庫ニ持ッテ來ル、ソレデ三百萬圓ノ財源ト云フモノ、幾分ヲ產ミ出ス、斯ウ云フ結果ニナリマスカ、サウ承知シテ宜シウゴザイマスカ、斯ウ云フ質問デス、甚ダ私不辯ノ爲ニ御聞キ苦シイカ知レマセヌガ、御分リニナリマシタカ

○國務大臣(安達謙藏君) 大體ニ於キマシテ、其地方ノ收入ノ減ルノハ、今マデノ俗ニ云フ穴金ヲ、其方ガナクナルヤウニ返スコトニナッテ居リマサガラ、從ッテ寄附行爲ハ止メル所ガ段々アリマス、ソレモ國家ガ取上ゲルノデナクシテ、サウ云フ風ニシテ返スコトニナルカラ、會社ガ地方ニ寄附スルコトガ若干ナクナリ、又ハ幾ラカ減ズルカモ知レマセヌ、是ハ已ムヲ得マセヌコトト

考ヘテ居リマス、ソレモ國家ガ取上ゲルト貴方ガ斷定サレルナラ仕方ガアリマセヌ、ソレデ地方稅トシテノ、横濱及福岡ハ今申上ゲタヤウナコトデ、其缺陷ノ出來ルコトハ補填スルコトニシテ行カウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○長岡隆一郎君 モウ一言、私ノ申上ゲ方ガ惡イガ、取上ゲルト云フコトハ甚ダ當ラナカッタカモ存ジマセヌガ、兎ニ角競馬法ノ改正ニ依ッテ、今度ハ國庫ノ收入ガ殖エル、地方ノ收入ハ減ル、ソレハモウ明カナ事實デス、是カラ其原因結果ヲ結付ケテ見ルト、國庫ノ收入ガ殖エテモ、ソレダケ地方ノ收入ヲ減ラシテ、ソレダケ國庫ノ收入ヲ殖ヤスト云フ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ申上ゲタガ、併シ此問題ハ本案ト關係ガ段々離レテ參リマス、併シ何レ豫算總會等ニ於テ追加豫算審議ノ際ニモウ少シ詳シク改メテ御質問ヲ申シマスカラ、本案ノ審議ノ進行ノ邪魔ニナッテハイケマセヌカラ、此程度デ打切りマス、私ハ尙ホ地租法案外各法案ノ審議ノ際ニ、法案ニ付テ多少ノ質問ガ殘ッテ居リマサガ、大體ノ質問トシテハ此程度デ打切りマス

○大橋新太郎君 本年度ノ追加豫算ニ、行政財政ノ整理調查會ト云フモノヲ御設ケニ

ナルヤウニ計上イタシデアリマサガ、此財政及行政整理調查會ニ於キマシテハ、中央ノ財政竝ニ地方財政、雙方トモ根本的ニ御改メニナルト云フ御確信ガアルカ、又唯中央行政ダケデアリマスカ、地方行政マデモ根本的ニ御改メニナルト云フ御考デアリマスカ、此點ヲ伺ヒマス、尙ホ先日ノ本會ニ於キマシテ、大正三年歐羅巴大戰以來、年増稅ニナッテ、非常ニ膨脹シマシタ、財政竝ニ稅率ニ現在ノ國民ノ經濟狀態ニハ適合シナイ稅率ガ行ハレテ居ルノデアリマス、幸ニ此度小ナリト雖モ減稅案ヲ政府ガ御提出ニナッタト云フコトハ、我々モ之ヲ喜ビマス、現在ノ國民ノ收益ニ對シテ、國民ノ負擔ガ當ラ得テ居ラヌト云フコトハ、大藏大臣モ内務大臣モ御認メニナルノデアリマス、是ハ御認メニナラヌノデアリマスカ、其邊ガ詰リ今後出來マス所ノ財政及行政整理調查會ノ審議ノ眼目ニモ關係シマスカラ、現在ノ國民經濟狀態カラ言ヘバ、今日デハ三割トカ四割位下ゲヌケレバ、此國民經濟ト一致シナイト云フヤウニ見ル人ガアリマス、又國家ノ行政竝ニ地方ノ行政ハサウ急激ニ國民負擔ノミニ考慮ヲ拂フ譯ニハ行カヌノデアリマサガ、何割位ヲ行政竝ニ財政ノ緊縮ヲ御圖リニナル御方針デアリ

ニナルヤウニ計上イタシデアリマサガ、此財政及行政整理調查會ニ於キマシテハ、中央ノ財政竝ニ地方財政、雙方トモ根本的ニ御改メニナルト云フ御確信ガアルカ、又唯中央行政ダケデアリマスカ、地方行政マデモ根本的ニ御改メニナルト云フ御考デアリマスカ、此點ヲ伺ヒマス、尙ホ先日ノ本會ニ於キマシテ、大正三年歐羅巴大戰以來、年増稅ニナッテ、非常ニ膨脹シマシタ、財政竝ニ稅率ニ現在ノ國民ノ經濟狀態ニハ適合シナイ稅率ガ行ハレテ居ルノデアリマス、幸ニ此度小ナリト雖モ減稅案ヲ政府ガ御提出ニナッタト云フコトハ、我々モ之ヲ喜ビマス、現在ノ國民ノ收益ニ對シテ、國民ノ負擔ガ當ラ得テ居ラヌト云フコトハ、大藏大臣モ内務大臣モ御認メニナルノデアリマス、是ハ御認メニナラヌノデアリマスカ、其邊ガ詰リ今後出來マス所ノ財政及行政整理調查會ノ審議ノ眼目ニモ關係シマスカラ、現在ノ國民經濟狀態カラ言ヘバ、今日デハ三割トカ四割位下ゲヌケレバ、此國民經濟ト一致シナイト云フヤウニ見ル人ガアリマス、又國家ノ行政竝ニ地方ノ行政ハサウ急激ニ國民負擔ノミニ考慮ヲ拂フ譯ニハ行カヌノデアリマサガ、何割位ヲ行政竝ニ財政ノ緊縮ヲ御圖リニナル御方針デアリ

マスカ、是ハ無論調査會ノ結果ヲ待タヌケ
レバ分ラヌコトデアリマセウケレドモ、此
點ニ付キマシテ大藏大臣竝ニ内務大臣トシ
テ御抱負ガアルナラバ、此場合ニ、此減稅
案ヲ我々ガ議シマス今日ニ於キマシテ、政
府當局ノ大體ノ御意見ヲ承ルコトガ出來レ
バ大變仕合セト思フノデアリマス、尙ホ内
務省ノ地方局デ御調ベニナリマシタモノ、
之ヲ見マシテモ如何ニ國民負擔ノ増加ガ急
激ニ來タカト云フコトガ、是ハ皆様ノ御手
許ニモアリマセウガ、第二頁ノ歳出及租稅
負擔累年比較、此中ノ二三ダケヲ見マシテ
モ、是ハ明治二十四年ノ議會政治ガ始マツ
時カラノ調ベガ出テ居リマスガ、其時ノ單
位ヲ百ト見テ、サウシテ此増加ノ指數が出
テ居リマスガ、ソレハ丁度明治二十四年ノ
國家ノ歳出ガ百ノモノガ、三十七年ノ日露
戰爭ノ時ニハ三百三十二ニナリ、歐羅巴大
戰ノ大正三年ニハ七百四十六ニナッテ、七倍
強ニナッテ居リマス、ソレガ戰爭ガ終ヘタ昭
和五年ノ今日ニハ、歳出ガ詰リ百ノモノガ
千九百デスカラ、約二十倍ニ政府ノ歳出ガ
殖エ、同時ニ國稅ハ矢張り百ノモノガ歐羅
巴大戰ノ時ハ五百ニナッテ、而シテ今日ハ千
三百九十、十四グラキ程ニナッテ居リマス、
地方財政ハ實ニ驚クベキモノデ、二十四年

ノ百ガ大正三年ニハ七百四十四デアツタモ
ノガ、今度ハ三千六百十二ト、國費ガ十九
倍ニナツタノニ、歳出ガ地方ノ方ハ三十六倍
ニ殖エテ居ルノデアリマス、從テ稅モ地方
稅ハ二十四年ニ百ノモノガ、大正三年ニハ
十二倍七分ニ殖エ、今度昭和五年ニハ二十
一倍半ニ殖エタ、斯ウ云フ風ニ中央ノ財政
ガ殖エタヨリモ、ヨリ多ク地方ノ歳出ト云
フモノガ非常ニ殖エテ、從テ國民ハ國稅モ
重イガ、國稅ヨリモ附加稅其他ノ負擔ト云
フモノガ非常ニ激増シテ居ルト云フコト
ハ、極メテ此内務省ノ御示シノ案ニ依リマ
シテモ明瞭デアルノデアリマス、殆ド私共
ハ……是ハ今ノ内務大臣ノ責任デハ無論ナ
イ、歷代ノ内務大臣ハ地方財政ニ對シテ殆ド
監督ヲシテ居ルノカ、シテ居ラヌノカ分ラ
ヌ位ニ、是ガ「ズボラ」ニ殖エタヤウニ思フ
ノデアリマス、デ斯ウ云フ風ニ激増シタ所
ノ中央財政竝ニ地方財政ヲ、現在ハ反動時
機ニナッテ、經濟上ノ位困ッテ居ルカ、大
正三年ニ負ケナイヤウニ米ノ値段ガ下ガ
リ、生絲ノ値段モ大正三年ヨリ以下ニ下ガ
リ、其他一般國民ノ所得ハ大正三年ノ當時
ト負ケナイヤウナ經濟狀態ノ今日ニ於テ、
國家ガサウ云フ大キナ暮シヲスルト云フコ
トハ、果シテ國民ノ負擔ニ適合スルヤ否ヤ、

又地方財政ガ今ノヤウナ財政ノ儘ニ進行ス
ルト云フト、地方民ヲ殆ド窮地ニ陷ラシメ
ルヤウナ事情ニナリハシナイカ、此邊ニ付
キマシテモ大方針ガ政府ニアリマスルナラ
バ、私ハ此際ニ政府ノ此減稅案ヲ我々ガ……
今年ノ減稅案ハ小ナリト雖モ、來年度ハ大
ニ政府ハオヤリニナル決心ガアリマスナラ
バ、之ヲ承テ見タイノデアリマス、又政府カ
ラ此豫算案ニ附ケテ御遣ハシニナリマシタ
昭和六年度ノ豫算參考書ノ卷末ヲ拜見イタ
シマシテモ、民間經濟ガドノクラキ影響シ
テ居ルカト云フコトハ、此一表デモ分ルト
思フノデアリマス、終ヒノ輸出入累計比較
表ヲ御覽願ヒマス、明治元年以來大正三
年マデ、此永イ年月ニ日本ガ貿易ノ結果ド
ウナツタカト云ヘバ、九億四千萬圓ノ輸入超
過ニナツタ次第デアリマス、ソレガ歐羅巴大
戰ノ大正三年以來、急ニ日本ノ品物ガ外ニ
出マシタ爲ニ、大正三年ノ初カラ大正三年
ノ終リマデニ九億四千萬圓ダケ輸出超過ニ
ナツタモノガ、今度ハアベコベニ大正八年ノ
末ニハ明治元年以來ノ差引通算ヲシテモ、
輸出超過ガ三億九千万ト云フ數字ヲ見ルヤ
ウニナツタ、此輸出超過ガ出來タト云フコト
ニ、政府モ國民モ殘ラス有頂天ニナツタト云
フノガ、今日ノヤウナ經濟狀態ヲ來シタ原

因ダト思ヒマス、ソレガ昭和五年ノ終ヒマ
デニドウナルカ、明治元年以來ノ此計數ガ
二十九億四千五百萬圓輸入超過ニナッテシ
マツタ、同時ニ臺灣竝ニ朝鮮マデ加ヘレバ、
四十二億二千七百萬圓ト云フモノガ輸入超
過ニナッテ居ル、日本ハ同時ニ國債ハドウ
ナッテ居ルカト云ヘバ、二十四年ノ議會ガ
始タ時、二億四千萬圓ノ國債ガ、三十七年
ニ九億七千万圓、大正三年ニハ二十五億萬
圓、更ニ昭和六年ノ……本年ノ初ニハ六十
億萬圓ニ國債ガ殖エテ居ルノデアリマス、
又地方債モ今日ハ、地方債ハ此表ニハ數字
ハアリマセヌガ、大正三年ニ三億二千六百
萬圓ノ地方債ガ、昭和三年ノ終リニハ二十
億五千万圓ニ殖エテ居ル、地方行政ノ如キ
ハ先キニ申シマシタヤウニ、年々ノ歳出
ヲ非常ニ殖ヤシタガ、尙ホ借金ハ大正三
年歐羅巴大戰ガ始タ時ニ殆ド十七億萬圓
モ地方債ヲ殖ヤシテシマフ、斯ウ云フ風ニ
歷代ノ放漫ナ政治ヲヤツタ結果ガ茲ニ數字
ノ上ニ現レタ譯デアリマス、政府ハ行政
竝財政整理調査會ヲ御設ケニナリマシテ、
本年ノ減稅案其モノハ甚ダ微弱ナリト雖
モ、此次ニ御出シニナルニ付テハ、ドノク
ラキ減稅ヲナサレバ國民負擔ノ均衡ヲ得テ
國家ノ繁榮ヲ害サヌデ濟ムカ濟マヌカ、其

邊ニ付キマシテ兩大臣ノ御所見ヲ承テ見タイト思ヒマス

○國務大臣(井上準之助君) 私カラ一應御

答ヘ致シマシテ、不十分ナ點ガアッタナラバ、又内務大臣カラ補足ヲシテ戴キマス、大體ヲ申シマス、中央地方ヲ通ジテ財政、行政、税制ノ整理ヲシタイト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、何故ト申シマス、只今御示シノヤウニ、寧ロ中央ヨリモ地方ノ財政整理ヲ要スルヤウナ事態デアリマシテ、サウシテ地方ノ財政ノ膨脹ハ、實ハ中央カラ種々ノ仕事ヲ地方ニ命ズルト云フヤウナコトカラシテ、地方費ノ増加モ少カラズ來シテ居リマス、中央ノ行政整理ヲ致シマス時ハ、ドウシテモ地方ノ行政、税制ノ整理ヲ致サヌケレバナラヌノデアリマス、只今茲ニ問題ニナッテ居リマス、地租法ノ改正ノ如キモ、國稅トシテノ地租法ヲ改正イタシマシテ、地方稅ト致シマシテハ、地租法及營業收益稅ノ改正ニ伴フ、唯單ニ始下一時的ト申シマス、所謂直接ノ必要ノアル二種ノ稅ニ對スル附加稅ノ整理ヲ致シタニ過ギマセヌノデ、是モ簡單ニ申シマスレバ、七箇年間ニ地方稅、附加稅ガ殖エルノハ、七箇年間ニ殖エル所ハ漸次殖ヤシテ行カウ、又農村ノ田畑ノ減ル所モソレト連

レテ、七箇年ニ段々減シテ行クヤウニシヤウ、斯ウ云フヤウナ風ニシテ、ナガラカニ凡ソヤッテ、次ノ貸賃價格ノ改訂マデニ其整理ヲシヤウト、斯ウ云フ風ナコトニナッテ居リマスノダカラ、中央ノ稅制整理ヲ考ヘマス時ハ、到底地方ノ稅制整理モ共ニ考ヘ、行政整理モサウ致サヌケレバナラヌノデアリマス、ソレカラ行政整理ヲシテ如何ニ國民ノ負擔ヲ輕減スルカト云フ御話デアリマスガ、此地方財政ノ二頁ノ所ヲ御覽下サイマシテモ、我ニガ組閣當時カラ一番此點ニ付テ重キヲ置イタノハ、日本デ大正九年ト云フ最モ財界ノ頂上ニ達シマシテ、ソレデ世界ト共ニ經濟界ハ段々收縮シテ縮コマッテ居ルノデアリマス、今度ノヤウナ場合ニ此世界的ノ不景氣ヲ別ト致シマシテ、大正九年カラ非常ニ縮マッテ居ル、然ルニ御覽下サイマスト大正九年ニハ十三億ト云フ中央ノ歲出ハ段々殖エテ、一番多イ時ハ十八億、其後カラズツ經濟界ノ調子ガ逆ニ行ッテ殖エテ居リマス、殊ニ地方ノ如キハ二十億ト云フ所マデ殖エタコトガアリマシテ、是ハ要スルニ大橋君ノ言ハレル、一方ニハ從來ノ習慣、中央デ申シマスレバ、少カラザル剩餘金ト云フモノガ其處ニ手許ニアルガ爲ニ、何等ノ苦勞ヲセズニ財政ヲ膨脹シタ

ト云フコトガ、ソコニアリマス爲ニ斯様ナ事ニナッテ居リマス、從テ經濟界ハ段々收縮シテ行ク、中央地方ノ歲出ハ非常ニ殖エマスカラ、ドウシテモ是ハ何トカシテ國民經濟ニ伴フヤウニ縮メナケレバナラヌト云ッテ考ヘテ來タノガ昭和四年カラノコトデアリマス、ソレガ今日迄ズツ持續シテ來テ居ルノデアリマスガ、扱ソレナラバ只今ノ御問ノ、之ヲ整理ヲシテ幾ラ此上ニ減稅スルコトガ出來ルカ、又ソレヲ減稅ノ方ニドンナ風ニ振向ケラレルカト云フ御尋ニ對シマシテハ、的確ナ御答ガ出來兼ネマスガ、極ク簡單ニ事情ダケ申上ゲテ置キマス、第一ハ政府ノ此昭和六年度ノ財政ノ歲出ノ十四億五六千万圓ノ中ニ七億足ラズノ義務費ガ這入ッテ居リマス、是ハナカノ根本的ニ行政整理ヲ致サヌケレバナリマセヌノミナラズ、行政整理ヲ致シマシテモ國債ノ利拂其他ノ絕對義務ヲ負擔シテ居リマスモノハ、到底一文モ減ズルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマス爲ニ非常ナ困難ヲ感ジマスカラ、行政ノ根本ニ涉ッテ組織マデ改正セヌケレバナラヌノデアリマスガ、扱行政組織ガ茲ニ一ツ出テ參リマス、是マデノ體験ニ依リマス、急激ニ其組織ヲ變更スルト云フコトハ餘程、局ニ當リマス、困難

ナコトデアリマス、國家ノ今日ノ組織ニ對シテ急激ナ縮小ヲ圖ルト云フコトハ、或點カラ行ケバ無理ノ出來ルコトデモアリ、困難デアリマス、モウ一ツ申シマス、若シ假ニ今度ノヤウナ歲入ガ減ラナカッタナラバ、是マデノ歲入ガ假ニアッタ致シマス、稅ト官業收入デ今年一億五千万圓以上減リマシテ、其減タニ對シテ歲出ヲ減ジテ居リマス假ニ普通ノ歲入ガアッテ、斯ノ如ク歲出ヲ減ジ得タトスルナラバ、其中ニハ勿論物價下落、全體ノ行政費ノ經濟的ニ出來ルト云フコトモアリマス、少クトモ一億圓クラキノ歲出ヲ減ジ得タナラバ、ソレダケハ減稅ニ持ッテ行ケタ筈ダ、然ルニソレヲヤル前ニ歲入ノ方ガ減タ、歲入ニ應ジテ一億二千何百万圓ト云フ歲出ヲ減ジテ見タ、漸ク歲入ノ減ルノニ應ジテヤレタト云フ位ノコトデ、ソレヲ減稅ニ持ッテ行ク餘地モ何モナイノガ昭和六年度ノ財政ノ狀態デアリマス、左様ナ意味デアリマスカラ今日ノ歲入ト今日ノ日本ノ政府ノ行政組織ト云フモノデモ、是ハ釣合ヒガ取レテ居リマセヌ、今日ノ歲入ガ減ジタナラバ少クトモソレニ對シテ行政機關ヲ小サクセヌケレバ釣合ヒガ取レテ居リマセヌ、モウ一步進ンデ之ヲ減稅ニ幾ラカ持ッテ行カウト思ヘバ、今私ガ

言フヨリ尙ホ一層行政機關ヲ小サクセヌケ
レバ歳入ヲ減税ニ振リ向ケルト云フコトハ
不可能ト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ何
レニシテモ今日ノ經濟狀態ハ急激ニ景氣ガ
復テ元ノ大正九年以前ノヤウナコトヲ世
界のニ望ムコトノ出來ナイコトハ能ク分
テ居ルノデアリマス、從テ組織ヲ變ヘテ漸
次所謂歳出ガ減ル、從テ段々國民負擔モ減
ジテ行ケル、斯ウ云フ方針ヲ立テヌケレバ
ナラヌト斯ウ我々ハ考ヘテ居リマスノデ、
左様ナ事情話デ、的確ニ是ダケノ減税ヲヤ
テ見マセウ、出來マセウ、斯ウ云フコトハ
申上ガ兼ネルコトハ遺憾デアリマスガ、左
様ナ意味ニ於テ、ドウゾ御諒解ヲ得テ置キ
タウゴザイマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 休憩ヲ致シマ
ス、午後一時半ヨリ開會イタシマス

午前十一時五十三分休憩

午後一時三十九分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 午前ニ引續イ
テ、是ヨリ開會ヲ致シマス

○森田福市君 昨ハ昨日ノ晝ガツイテ居ラ
ヌ所ヲ簡單ニ晝ヲツケテ置キタイト思ヒマ
ス、昨日ノ地方税ノ地租ノ附加税問題ニ對
シテ、附加税ハ増徴ニナラズト云フヤウナ
答辯ヲナサタノデアリマス、サウシテ其理

由トシテハ、又茲ニ特別地稅額又ハ同附加

稅額ヲ通算セザルガ爲ナリ、通算ナサナケ
レバイソ是ハ必要ガナイデハナイカト云
フ感ジガスル、今日御配リニナツタ所ノ書類
ヲ拜見スルト、斯ウ云フ風ニ、政府ノマア
是モ逃ゲ道デアルガ、要スルニ地租ノ附加
稅ハ道府縣ガ増シ、市町村ガ増シ、合セテ
百萬圓増スノデアリマス、小サク言ヘバ即
チ九十五萬四千六百十七圓ノ地租ノ道府縣
市町村附加稅ノ増稅ニナツタコトハ間違ガ
ナイト云フノハ、此改正後ノ地租ノ合計額
ニ以テ行ッテ、即チ五千八百七十萬圓ト云フ
地租ニ、附加稅ノ一圓四十八錢ト云フ兩者
ノ附加稅ヲ掛ケテ見ルナラバ八千六百八十
七萬六千圓ニナルノデアリマス、デアルカ
ラ茲ニ御出シニナツテ居ル所ノ特別地稅額
又ハ同附加稅額ヲ通算セザルガ爲ナリトア
ルモノガ、通算セラレルトモセラレヌトモ
關係ガアリマセヌ、其關係ヲセズニ置イテ
即チ此平年度、改正後ニ於ケル地租ノ五千
八百七十萬圓ヘ今度ノ改正ニ依ル附加稅ノ
一圓四十八錢ヲカケテ見タナラバ、八千六
百八十七萬六千圓ニナルノデアリマス、
隨テ政府ノ言ハレルヤウナソレヲ加入スル
トセヌトノ如何ヲ問ハズ地租ノ附加稅ガ増
スト云フコトハ明カニナツテ居ルノデアリ

マスガ、之ニ對シテ政府ハ矢張増稅ニナラ
ヌト仰シヤルノデアリマスガ、モウ一ツ斯
ウ云フ風ナコトハ別ニシテ下サイ、特別地
稅ヲ云々、特別地稅附加稅ヲ減スト云フコ
トデ三角ヲ附ケテ御出シニナツテ居ルガ、今
朝配タ書類ノ中ニ、是ハ特別地稅トカ附加
稅トカ云フ名稱ハ、法律ニ確カナイヤウニ
思フ、是ハ府縣規則ニ依テ課稅スルト云フ
ヤウニナツテ居リマス、隨テ是ハ昨年ノ縣會
デ地方ガ斯ウ云フ風ニ減稅ニナルヤウニ規
則ヲ改正シテ居レバ宜イガ、私ハ政府ガ單
ニ増稅デナイ爲ヲ此場合ゴマカス爲ニ是ハ
出シタモノデアル、恐ラク特別地稅ガ斯ウ
云フ風ニ減ル、隨テ特別地稅ノ附加稅ガ減
ルト云フヤウナコトハ私ハ思ハレヌノデア
リマス、少シ靜カニシテヤッテ貰ヒタイデ
ス、賑カニナルト論旨ガ徹底セヌカラ……
今ノ問題ハ特別地稅ヲ減ラシタトカ市町村
ガ特別地稅附加稅ヲ減ジタトカ云フヤウナ
コトハ、私ハ唯書面ノ上デ御作リニナツタダ
ケノモノデ、之ヲ減ジタノハ何ノ根據ニ於
テ御減ジニナツタカ、私ハ恐ラク根據ガナイ
モノデアラウト思ヒマスガ、先ヅソレヲ聽
イテカラ次ニ移リタイ

○森田福市君 地ノ第四十四號デス
○伊澤多喜男君 只今ノニ關聯シテ居リ
マスカラ申上ゲマスガ、昨日來ノ御質問ノ
様子ヲ窺ヒマス云フト、我々共ノ考ヘテ
居ルコトニ大分違ヒマシテ、何ヤラ是ハ所
謂減稅案トカ云フケレドモ、減稅案デナク
テ増稅ダ、殊ニ地方稅ニ付テ然リ、ト云フ
ヤウナコトガ屢言ハレマシテ、私ハマダ
政府ノ御説明デハ十分ニ、私モ矢張り果シ
テ地方稅ニ付テ減稅デアルカドウカト云フ
コトガ分ラナイ、只今ノ御質問ノ前ニ、モ
ウ少シ詳シク、私ハ減稅ダト大體分ッテ居
リマスガ、減稅ニナルト云フコトヲ大臣ナ
リ政府委員、私ハ政府委員デモ結構デス、
モウ少シ分リ易イヤウナ風ニ御説明ヲ願ヒ
タイト存ジマス
○國務大臣(安達謙藏君) 大體御答ヘ致シ
マシテ、詳シイコトハ政府委員カラ御答ヘ
スルコトニ致シマス、主モ御意見ノアル
所ハ、地租及地租附加稅ノコトデアリマス
ガ、東京市其他主モナル市ニ於キマシデ、
地租ノ附加稅ノ制限額ハ相當ニ増加スルト
云フコトニ違ヒゴザイマセヌ、併シ若モ制
限額内ニ於テ地租ノ附加稅ヲ増徴イタシマ
スナラバ、其時ハ其増徴スルダケソレダケ
營業收益稅或ハ家屋稅トカ所得稅附加稅等

デ輕減セラレルコトニナツテ居ルカラ、故ニ土地ノ所有者ニシテ種々ノ營業ヲナシ居ル者、所得稅ヲ納ムル人ニハ、其方ニ於テ負擔ヲ輕減シ緩和セラレルト思フノデアリマス、ソレカラ其制限率、制限額ト云フモノハ増加イタシマスケレトモガ、昭和六年度ハ一文モ増シテ居ラナイ、サウシテ昭和七年度カラ昭和十二年マデ七分ノ一ツツ増加シテ行クヤウニナツタ制限額ナルモノガアルノデス、ソレカラ先ハ市ノ當局者アタリガ負擔ノ均衡ヲ見テ、ソレノ按排スルコトト考ヘマス、制限額ノ増加モ七箇年ニ七分ノ一ツツ増加サレテ行ク、ソレ以上ノ詳細シイコトハ政府委員カラ御話スルコトニ致シマス

○政府委員(次田大三郎君) 此度ノ稅制改正ニ依リマシテ、減稅ト云フガ實ハ増稅ニナルデハナイカト云フ御質問ガ、昨日來皆様カラゴザイマシタ、地租ノ國稅ノ關係ハ是ハ大藏省ノ方カラ説明ヲ申上ゲルト考ヘマスルガ、市街地ノ宅地ノ賃貸價格ハ上ル結果トシテ、市街地ノ地租ハ増加イタシマス、詰リ之ヲ増稅ト申シマスレバ増稅ニナル譯ナンデアリマス、之ニ反シテ農村ノ地租ハ減少スルコトニナツテ居リマス、私ガ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマスノハ、地租ノ

附加稅ガドウ云フ風ニナルカト云フコトニ付テ申上ゲタイト存ズルノデアリマス、先

ヅ是ハ分リ切ツタコトヲ申上ゲルヤウデ甚ダ恐縮デゴザイマスルガ、地租ハ、法律デ賃貸價格ノ三・八ヲ取ルト極マリマスレバ、モウソレデ年々其法律ノ改正ガアリマスル迄ハ年々賃貸價格百分ノ三・八デ終始スルノデアリマスガ、地方稅ハ年々所要ノ經費ト照シ合セマシテ、府縣會ナリ市町村會ナリガ其附加額ヲ議決スルノデアリマス、併ナガラ其議決ハ勝手ニ議決スルコトガ出來ルノデハアリマセヌデ、本稅ニ對シテ一定ノ率以上ノ附加額ヲ極メルコトハ出來ナイト云フコトニナツテ居リマシテ、其事ハ明治四十一年ノ法律第三十七號ニ規定シテアルノデアリマス、若シ其制限率以上ノ課率デ地租附加稅ヲ課シヤウト云フ場合ニハ、内務大藏兩大臣ノ許可ヲ要スル、其範圍内デアレバ内藏兩大臣ノ許可ナクシテ地租附加稅ヲ課スルコトガ出來ルノデアリマス、其明治四十一年法律第三十七號中ノ制限率ヲ今度此改正法律案ニアリマスルヤウニ改メル、其改メルコトガ地租附加稅ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フコトヲ順次申上ゲテ見タイト存ジマス

○子爵大河内輝耕君 チョット參考書ヲ御

指摘願ヒマス、何レヲ見タラ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(次田大三郎君) 此明治四十一年法律第三十七號中改正法律案アリマス、其第一條ノ第一號中「宅地地租百分ノ三十四其ノ他ノ土地地租百分ノ八十三」是ガ從來ノ地租附加稅ノ制限率ナンデアリマス、地租附加稅ヲ、宅地地租百分ノ三十四、其他ノ土地地租百分ノ八十三、是ハ府縣ノ制限率デアリマス、府縣ノ地租附加稅ハ其以下ハ府縣會ノ決議ダケデ取レル、此以上取ラウト云フナラバ、一定ノ制限ノ下ニ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ得テ取ルコトガ出來ルト、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、市町村ノ分ハ、同條第二號中、其次ニアリマス、「宅地地租百分ノ二十八其ノ他ノ土地地租百分ノ十六」トアリマス、是ガ市町村ノ地租附加稅ノ制限率ノデアリマス、ソレヲ今度改正イタシマシテ、地租百分ノ三十四ニ付テハ地租百分ノ八十二、市町村ニ付テハ地租百分ノ六十六ト云フコトニ改メタイト云フノデアリマス、此制限率ヲ斯ノ如ク改メマスコトハ、實際ノ地租ノ負擔ニ如何ナル影響ヲ及ボスデアラウカト云フコトヲ申上ゲレバ御了解ヲ得ルコトト存ズルノデアリマス、先ヅ此百分ノ八十二トカ、百分ノ六十六ト

カ云フ制限ヲ定メマシタ計算根據ヲ先ヅ御參考ニ申上ゲタイト思ヒマス、從來ノ制限率、即チ府縣ニ付テハ宅地地租百分ノ三十四、其他ノ土地地租百分ノ八十三ト云フノデ幾ラ取レルカ、幾ラ地租ノ附加稅ガ取レルカト云フコトヲ日本全國ニ付テ計算イタシマシテ、之ヲ今度ハ地租額ガ變テ參リマスカラ、其今度ノ改正地租法ニ依ル地租額ニ割當テテ勘定イタシマスルト、百分ノ八十二デ從來通りノ制限額、從來通り……從來制限内デ取レテ居タダケノモノガ取レルコトニナルノデアリマス、市町村ニ付テモ同様ニ、全國市町村ガ、宅地地租ノ百分ノ二十八、其他ノ土地地租百分ノ六十六ト云フコトデ計算イタシマス、即チ今迄ノ制限率、市町村稅ノ制限限リ取ルトスレバ、ドレダケ取レルト云フコトヲ計算イタシマシテ、ソレヲ今度ノ地租法改正ニ依テ地租ガ減ジマス、其減ジマシタ地租ニ割當テニ勘定イタシマスルト、地租百分ノ六十六取リマスレバ略、從來ノ制限内デ取レタダケノ地租附加稅ガ取レルト云フ立前デ計算イタシマシテ、百分ノ八十二、百分ノ六十六ト云フコトニナツタノデアリマス、所ガ此今問題ニナリマシタ森田サンカラ御質問ニナラレマシタ、特別地稅ト云フモノガ茲ニアル

ノデアリマス、是ハ自作農ノ免租地ニ對シテ、地方團體ガ地租附加稅ヲ掛ケル代リニ掛ケル稅ナノデアリマス、府縣ガ掛ケルモノガ特別地稅、市町村ガ掛ケルモノガ特別地稅附加稅ノデアリマス、本稅ハアリマセヌカラ、地租何分ノ幾ツトカ云フヤウニ取ルコトガ出來マセヌカラ、府縣ハ特別地稅ヲ取り、市町村ハ特別地稅附加稅ヲ取テ居ルノデアリマス、是モ法律ニ制限ガ定マテ居リマス、先刻森田サンハ、是ハ府縣會限リデキメルモノダト云フ御話デアリマシタガ、是ハ大正十五年法律第二十四號第二條以下ニ特別地稅、同附加稅ノ制限率ハキマテ居ルノデアリマス、是ハ地租附加稅ト對稱スルモノデアリマシテ、地方團體ノ方カラ申シマスレバ、地租附加稅ト同ジヤウニ考ヘテ、詰リ土地ノ地方負擔ト云フ觀念ノ中ニ、同ジヤウニ考ヘテ然ルベキモノデアリマス、ソレデ今度此稅率ヲキマス時ニモ特別地稅、地租附加稅ヲ合算イタシマシテ、制限一パイ取レバ、地租附加稅、特別地稅ノ兩方デ幾ラ取レルト云フコトヲ計算イタシマシタ、ソレカラ新シイ地租法ニ依ル地租額ニ、ソレヲ割當テ勘定イタシマシテ、百分ノ八十二、百分ノ六十六、特別地稅ニ付キマシテモ亦ソレゾレ課

率ヲ……モウ一ツノ案デアリマス、大正十五年法律第二十四號ノ中ノ改正案ニ、其新シイ何ヲ掲上シテアルノデアリマス、斯ウ云フ風ニシテ計算イタシマシタ結果、私、昨日地租附加稅ハ從來ニ較ベテ減少シテ居ナイト申シマシタコトハ、言葉ガ足りナンダノデアリマシテ、地租、土地ノ地方負擔ハ全體トシテ略、同ジコトニ、増減ノナイヤウニ計算シタト申上ゲル方ガ正確デアタノデアリマス、即チココニ、表ニアリマスル通り、今日差上ゲマシタ地第四十四號ノ表ニアリマス通り、地租附加稅ハ道府縣町村トモ増加ヲ致スノデアリマスガ、ソレト同時ニ特別地稅、特別地稅附加稅ガ減少シマスノデ、彼レ此レ略、同ジ位キノ收入ガ地方團體トシテハアル計算ニナルノデアリマス、詰リ地方負擔ノ地租ノ附加稅、特別地稅及附加稅、ソレヲ合セテ考ヘマスレバ從來ノ制限率内ニ於テ取ルコトノ出來ル額ト、改正法ノ制限率内ニ於テ取ルコトノ出來ル額トガ略、増減ガナイト云フコトニナルノデアリマス、是ハ昨日私ノ言葉ガ足りマセヌデ、十分説明ガ出來マセナカッタコトヲ甚ダ遺憾ニ存ジマス、ソレカラ斯ノ如ク制限率ヲ定メマシタ結果、實際ノ個人ノ負擔ハドノヤウニ相成ルカト云フコトヲ其

次ニ御説明申上ゲマス、是ハ市街地ノ如ク地租額ガ非常ニ増加イタシマスル所ト、農村ノ如ク地租額ガ減少イタシマスル所ト、區別シテ申上ゲル方ガ宜シイト存ジマス、市街地ノ如ク地租額ガ非常ニ増加イタシマスル所ニ於キマシテハ、地租ノ制限以内デ……地租附加稅制限以内デ取レマスル額ハ、是ハ斯様ニ増加スルノデアリマス、例ヘバ東京府ニ付テ申シマスレバ、昭和十二年度ニハ三百八十萬圓以上、地租ノ附加稅ヲ制限マデ取レバ、現在ヨリソレダケ餘計取レルト云フコトガ出來ルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレハドコノ表ニアルノデスカ、表ヲチョット言テ戴カナイトマルデ分リマセヌ

○政府委員(次田大三郎君) 今申上ゲマシタ府縣及市町村ノ附加稅率ヲ算定イタシマシタ根據ハ地第六號ノ表ニ私ガ申上ゲマシタト同ジコトガ數字デ現レデアリマス、地第六號ノ表ヲ御覽ヲ願ヒマス、ソレガ今申シマシタ附加稅率ヲ制限イタシマシタ計算ノ仕方デアアルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 モウ一度其表ニ付御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(次田大三郎君) 畏リマシタ、ソレデハ今申上ゲマシタ通り、市街地ノ如

ク非常ニ地租ノ増加イタシマスル所デハ地租ノ附加稅ノ制限一パイヲ取りマシタ額ハ是亦非常ニ増加スルノデアリマス、ソレハ地第八號ノ表ヲ御覽ヲ願ヒマス、地第八號ノ二、其一ト云フヲ御覽ヲ願ヒマス、現行ノ地租ノ附加稅ヲ制限一パイ取りマシタナラバ東京デハ百三十六萬七千圓取ルコトガ出來ルノデアリマス、地第八號ノ二デアリマス、地第八號ノ二、地租附加稅異動表ト云フモノヲ差上ゲデアリマス、其一デアリマス、其東京ノ所ヲ御覽下サイマスト、現在ノ法律ノ定メテ居ル課率、地租ノ附加稅ヲ制限一パイヲ取ルコトニ致シマスト百三十六萬七千圓取レルノデアリマス、ソレガ昭和十三年度以降ニナリマスルト五百十八萬五千圓取レルコトニナルノデアリマス、五百十八萬五千圓取レルコトニナリマシテ、結局三百八十一萬七千圓ダケハ制限一パイ取ルコトニナリマスレバ、地租ノ附加稅ヲ是ダケ餘計取得ルト云フコトニナルノデアリマス、併ナガラ是ガ現實ニ是ダケ餘計取ルコトニ相成ルカドウカト云フコトハ、其團體ノ財政ノ事情ナリ又其團體ノ、府縣ナラバ府縣會、市町村ナラバ市町村會ノ意見ニ依ッテ決マル譯ナノデアリマシテ、例ヘバ東京府ニ付テ申シマスルト、現在三國稅

ノ附加税ハ制限一パイ取ッテ居リマセヌノ
デアリマス、地租ノ附加税ハ制限一パイ取ッ
テ居リマスガ、營業税ノ附加税ナリ所得税
ノ附加税ハ制限一パイ取ッテ居ナイノデア
リマス、内藏兩大臣ノ許可ヲ必要トセズシ
テ、モット税ヲ取ラウト思ヘバ取レルノデア
リマスケレドモ、東京府デハ取ッテ居リマセ
ヌノデアリマス、デアリマスカラ今後地租
ノ附加税ガ此上、三百八十一萬圓モ取レル
ヤウニナリマシテモ、果シテ東京府ガ地租
ノ附加税ヲ増シテ取ルヤウニ致シマスカド
ウカト云フコトハ、是ハ分ラナイト申上ゲ
ルヨリ外ハナイノデアリマス、恐ラク東京
府ハ現在所得税ノ附加税ニ付キマシテモ、
ソレヲ制限満度マデ取りマスカラバ此上
更ニ四百七十萬圓マデモ取レルヤウナ状態
デアリニ拘ラズ、今日所得税ハ一圓ニ付テ
十錢六厘シカ取ッテ居ナイト云フ 狀況ナノ
デアリマスカラ、此制限率一パイヲ東京府
デ取ルコトニ致シマスカラ三百八十一萬七
千圓、餘計ノ負擔ニナル譯デアリマスカ
ガ、併ナガラ之ヲ取ルカ取ラナイカト云
フコトハ今直チニ是ダケ増税ニナルト云フ
コトハ言ヘナイト思ヒマス、私ハ東京府ハ
或ハ取ラヌノデヤナイカト云フ、是ハ想像
デアリマスカラ、サウ云フコトモ考ヘラレ

ルト思フノデアリマス、之ニ反シテ東京市
ノ如キ所デハ現在是在其地區ノ地第九號ヲ
御覽下サイマスト東京市ニ於キマシテハ現
在ハ六十三萬九千圓、制限一パイ取レバ取
レルノガ二百六十九萬八千圓取レルヤウニ
ナルノデアリマス、其差額ハチョット二百萬
圓バカリ東京市ガ取ラウト思ヘバ取レルヤ
ウニナルノデアリマス

○藤田四郎君 チョット申上ゲマスカ、九號
ノ方ト八號ト東京ノ收入ガ違ウノデスカ、
百三十六萬圓ト四十一萬圓ト、ドチラガ宜
イノデスカ

○政府委員(次田大三郎君) 第九號ハ東京
市ダケノ地租ノ附加税ガ出テ居リマス、外
ノモノマデ混ゼテ一緒ニ致シタモノハ八號
ノ方ガ正シイノデアリマス、只今説明ノ便
宜上、九號デ東京市ノ方ヲ説明イタシテ居
リマス

○藤田四郎君 一緒ニナルト減ルノハドウ
デスカ、一緒ニナッタ方ガ百三十六萬圓ト
ナッテ、宅地ダケトナルト百四十萬圓トナ
ル……

○子爵大河内輝耕君 府縣稅ダカラ多少市
町村稅モ入ッテ居ルノデセウ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 如何デスカ、
説明中ハ御待チニナッテ後ニ願ヒマセウ

○政府委員(次田大三郎君) 東京市ノ方ヲ
申上ゲマスト、東京市ハ二百萬圓バカリ地
租ノ附加税ヲ制限満度マデ取レバ取レルヤ
ウニナルノデスカ、所ガ現在ハ制限一パイ取
テ居ル、ソレガ制限以上取ッテ居リマス、ソ
レデ若シモ東京市ガ今度ノ改正法ニ依ッテ
制限満度マデ取ルコトニナリマスト、現在
東京市ガ制限外ノ課税マデヤッテ居リマス
ノヲ制限内ノ課税ニシテ、サウシテ若シ改
正法ニ依ッテ東京市ガ制限満度マデ取ルコ
トニ致シマスカラ二百二十八萬圓バカリマダ
現在ヨリカ餘計取レルト云フ計算ニナッテ
アリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレハ何處ニアルノ
デスカ

○政府委員(次田大三郎君) ソレハマダ其
表ヲ差上ゲテ居リマス、其百二十八萬圓ヲ
東京市ガ取ルデアラウカ、ドウデアラウカ
ト云フコトヲ私考ヘテ見マスカラ、東京市
ハ現在營業收益稅ノ附加税ニ於キマシテ
モ、所得稅ノ附加税ニ於キマシテモ、多額
ノ制限外課税ヲ致シテ居ルノデアリマス、
營業收益稅ノ附加税ガチョット七十萬圓バ
カリ、ソレカラ所得稅ノ附加税ノ制限外課
稅ガ三百七十萬圓バカリアルノデアリマス、
デ若シ法律改正後、東京市ガ現在通りノ租

稅ノ附加税ヲ課スルト云フコトニナリマス
ト、地租ノ附加税ハ制限内百二十萬圓餘裕
ガアル、外ノ營業稅ノ附加税ヲ所得稅ノ附
加税ハ大變制限外課税ヲシテ居ルト云フノ
デアリマスカラ、恐ラク是ハ地租ノ附加税
ハ制限マデハ取ルコトニナルダラウト思フ
ノデアリマス、地租ノ附加税ハ……併シソ
レト同時ニ現在制限外課税ヲヤッテ居リマ
スル營業收益稅附加税、所得稅附加稅ノ率
ハソレダケ引下ゲルコトニナルト思フノデ
アリマス、デアリマスカラ東京市ノ地主
ガ地租ノ附加税トシテ納メル金額ハ増加ス
ルコトニナリマス、併ナガラ若シ其地主ガ
同時ニ所得稅ヲ納メテ居ルデアリマスカ
ラ、所得稅ノ附加税ニ於テ若干減少スルコ
トニナルト思ヒマス、又營業收益稅ヲ納メ
テ居ルデアリマスカラ、營業收益稅ノ附
加税ニ於テ、若干減ズルコトニナルノデア
リマス、地租ノ附加税ニ於テ増ス額ト、營
業收益稅ナリ所得稅ノ附加税……營業收益
稅附加税、所得稅附加税ノ方デ減ジマス額
トドチラガ多イダラウカト云フコトハ、其
人々ノ營業ヲ手廣クヤッテ居ルカ、所得額ガ
多イカ、或ハ持ッテ居ル土地ガ廣イトカ狭イ
ト云フコトニ依ッテ決スルノデ、一概ニハ申
スコトハ出來マセヌガ、兎ニ角地主ガ地租

ノ附加税ヲ餘計負擔スルヤウニナルト云フ
コトハ東京市ニ付テハ考ヘラルコトナノ
デアリマスルガ、ソレト同時ニ營業收益税
附加税、所得税附加税ガ減ズルコトニナッテ
居ルト思フノデアリマス、若シ地主ガ營業
モシテ居ナイ、所得税モ納メテ居ナイト云
フコトデアリマスレバ、地租ノ附加税ガ増
シタダケハ其人ノ實負擔ガ増スト云フコト
ニナルト思ヒマス、此東京市ニ於ケルガ如
キ關係ハ、地租附加税ノ制限外課税、地租
附加税ノミナラズ、三國税ノ制限外課税ヲ
ヤッテ居リマスル土地ニアッテハ略、同ジヤ
ウナコトニ相成ルト思フノデアリマス、今
日百十ノ都市ノ中デ僅カ四ツカ五ツカガ制
限内ノ課税ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、
其外ハ皆制限外ノ課税ヲ致シテ居リマスル
カラ、大體ニ於テ、都市ニ於キマシテハ、
地租ノ附加税ハ増ス、其代リニソレト同ジ
額ダケ營業收益税ノ附加税、所得税ノ附加
税ガ減額スルト云フコトニ相成ルノデハナ
イカト思ッテ居ルノデアリマス、次ニ農村ノ
今度制限率ガ下ガル所、制限一パイ取りマ
シテモ、從來ヨリカズト少額ダケシカ地租
ノ附加税ヲ取ルコトガ出來ナクナル、町村、
農村ニ於キマシテハ其地主ノ負擔ハ是ハモ
ウ明瞭ニ減ズルノデアリマス、而シテ其代

リニ或ハ家屋税ノ附加税デアルトカ、戸數
割ト云フヤウナモノガ、其額ダケ増スコト
ニナルドラウト思フノデアリマス、デアリマ
スルカラ、若シ其地主ガ其町村ニ住ンデ居リ
マスルナラバ、一方地租ノ附加税ハ減ジマ
スト、同時ニ、戸數割ノ方ガ増スコトニナ
ルノデアリマス、併ナガラ其町村ニ地主ガ
住ンデ居ナイト云フコトデアリマスルナラ
バ、地租ノ附加税ガ、其地主ノ地租ノ附加
税ガ減ズルト云フコトニ、其町村ダケノ關
係ニ於テハサウ云フコトニナルノデアリマ
ス、デ此個人ノ負擔ガ斯ウ云フ譯デ、或ハ
市街地ニ於テハ増シ、農村ニ於テハ減ズル
ト云フ關係ハ、改正法律ノ附則ノ第四項、
明治四十一年法律第三十七號中改正法律案
ノ附則ノ第四項第五項ニ規定ガアリマシ
テ、昭和十二年度分マデニ限り勅令ノ定ム
ル所ニ依ッテ一時ニ増額ヲシ、減額ヲサセナ
イ、ボツリボツリ、増スモノハ昭和十二年度マ
デ七年間ニ七分ノ一ヅツ増シテ致ス、減ル
方ハ昭和十二年度分マデニ七分ノ一ヅツ減
ラシテ、其制限率ヲ定メルト云フコトガ此
附則ニ定メタルノデアリマス、從テ昭和
十三年ニナリマシテ、今申上ゲマシタコト
ガ一パイニ行ハレルノデアリマシテ、ソレ
迄ハ現在ノ制度ノ附加額ト、ソレカラ法律

ヲ一パイニ行ヒマシテノ附加額トノ差ガ七
分ノ一ヅツダケ年々増シ、或ハ減ルト云フ
コトニナリマシテ、サウ云フ譯デ稅ノ負擔
スル者ノ急激ナル負擔増ヲ避ケタ積リナノ
デアリマス、ソレカラ今度ハ公共團體ヲ別
別ニ考ヘタナラバ、地租ノ稅ハ増稅ニナル
デアラウカ、減稅ニナルデアラウカト云フ
コトヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、市
街地ノ公共團體ハ地租ノ附加税ハ増加イタ
シマス、大體ニ於テ増加スルト思ヒマス、
併ナガラソレト同時ニ其増加シマシタダケ
ハ他ノ稅デ減ジマスカラ、其團體ノ稅總額
カラ考ヘマスレバ、大體ニ於テ増減ノナイ
コトニナルノデアリマス、ソレカラ農村ノ
地租ノ減額スル所ニ於キマシテハ、地租ノ
附加税ハ減ジマス、ソレト同時ニ其減ジマ
シタダケノモノハ他ノ稅ニ於テ殖エル、大
體ニ於テ殖エルコトニナラウト考ヘラレマ
スノデ、結局、農村ニ於キマシテモ、農村
ノ團體トシテノ地方稅ノ額ハ増減ガナイト
云フコトニナルト考ヘルノデアリマス、大
體昨日來ノ御疑問ノ點ニ付テ申上ゲマシタ
ノデアリマス、尙ホ説明ヲ要シマスレバ申
上ゲマス

○子爵大河内輝耕君 今ノ所デ、チヨット御
確メ致シテ置キマスガ、サウスルト、七年
間ニ段々ニ上ゲテ行ク、今年ハ七分ノ一、
其次ハ七分ノ二、七分ノ三、七分ノ四、斯
ウ云フ風ニ上ゲテ行クト云フコトニ承知シ
テ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(次田大三郎君) 此附則ノ第四
項、第五項ニハ、勅令ノ定ムル所ニ依ッテ制
限ヲ超過スル、或ハ制限内デ課稅額ヲ定ム
ルトアッテ、七年ト云フ文句ハ書イデアリマ
セスガ、別ニ勅令ノ要綱ヲ御參考ニ差上ゲ
タ筈デアリマス、ソレニ七年間ニ整理スル
ト云フコトヲ……

○藤田四郎君 何號デス

○政府委員(次田大三郎君) 地第七號デス

○藤田四郎君 只今ノ昭和七年カラ十二年
迄、毎年七分ノ一ハ上ゲ得ルト云フコトニ
ナッテ居リマスガ、此上ゲ得マスノハ、先刻
御話ノ營業收益税……

○子爵大河内輝耕君 私マダ質問中デス

○委員長(伯爵柳澤保憲君) 藤田サン、チ
ヨット待ッテ下サイ

○子爵大河内輝耕君 地第七號ノ何處ニア
リマスカ

○政府委員(次田大三郎君) 此勅令……地
方稅關係改正法律案施行勅令要綱ト云フ所
ニ……、地第七號ノ四號……

○子爵大河内輝耕君 何行目デスカ

○政府委員(次田大三郎君) 其二頁ノ四デ

ゴザイマス、改正制限率ニ依リ賦課スルコトヲ得ベキ……ソレノ一番終ノ所ニ二、二ト書イテ、昭和六年度分ニ付テハ「云々」昭和七年度分ニ付テハ法律ニ規定スル差額ノ七分ノ六ヲ改正地租額ヲ以テ除シテ得タル

數「昭和八年度分以降ニ付テハ昭和七年度分ヨリ其六分ノ一ヲ毎年度遞減シタル數」是ハ農村ノ減ル方ノ規定デアリマス、ソレカラ市街地ノ増ス方ノ規定ハ其次ノ次ノ第六號デアリマス、改正制限率ニ依リ賦課スル

コトヲ得ヘキ地租附加税額ト特別地租額又ハ其ノ附加税額トノ合算額ヲ從前ノ地租又ハ地價ヲ標準トシ從前ノ制限率ニ依リ賦課スルコトヲ得ヘキ「何々」トノ合算額ヲ超エ

ル場合ト云フノハ第六號ノ方ニ規定シテ居リマシテ、昭和六年度分ハ前年度通り、昭和七年度以降ハ七分ノ一ツツ制限率ヲ増シテ行クト云フコトヲ勅令デ規定スル考デ居リマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト今モウ一遍御確メ致シマスガ、六ノ括弧シテ二トアル之ヲ仰シタルノデスカ、昭和七年度以降ニ付テハ昭和六年度分ノ制限率ノ三十八分ノ四十二法律ニ規定スル超過額ノ七分ノ一ヲ改正地租額ヲ以テ除シテ得タル數ヲ毎年

度遞増シタル數「之ヲ仰シタルノデスカ

○政府委員(次田大三郎君) 是ハ市街地ノ如ク増加シマス分ニ付テハ之ヲヤラナケレバナラスノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデ段々分ッテ來マシタ、サウスルト段々ニ是ハ増加スル、七年經ッテ、サウシテ増加ノ極點ニ達スル、詰リ例デ申シマスレバ地第九號デ伺ヒマス

ガ、此東京ハ増ガ四百六十三万五千圓トアリマスガ、是ガ昭和六年度ナリ七年カラ一ドキニ増加シナクテ、是ハ七分ノ一ツツ段段々殖エテ、昭和十二年ナリ何シナリニ至ッテ四百六十三万五千圓ノ増加ニナル、斯

ウ承知シテ宜シウゴザイマスカ
○政府委員(次田大三郎君) 御話ノ通りデアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマスルト是ダケ増加スレバ外ガ減ルダラウ、斯ウ云フコトヲ仰シタルノデスカ、ソレハ減ルダラウト仰シタルノデスカ、減ス方針デアルト仰シタルノデスカ

○政府委員(次田大三郎君) 減ス方針デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 私ハ分リマシタカラ是デ……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 藤田サン、先

程ノ御質問ハ……

○藤田四郎君 是ハ昭和七年カラ七分ノ一ツツ殖エテ参リマスノハ、矢張りソレダケ收益税ナリ、其他ヲ御減ラシニナル御考デスカ是ハ先キニ要ルカラト云フノデ必要ト見デカラ、ソレニ關係セズニ増税スルト云フ意味デスカ、ドチラデスカ

○政府委員(次田大三郎君) 此改正法律ヲ適用イタシマシテカラ後、如何ナルコトガアッテモ地方税ノ歳出ヲ増スコトハ許シマセスト云フコトハ、私申上ゲルコトハ如何カト考ヘマス、ドウシテモ必要已ムヲ得ナイ、例ヘテ言ヘバ傳染病ガ流行スルトカ、必要已ムヲ得ザル場合ハ歳出ノ方ヲ増加スルコトモ考ヘラレルノデアリマスガ、内務

省ノ考ト致シマシテハ、地方ノ歳出ハ、今朝モ御質問ガアリマシタ通りニ、非常ニ膨脹ニ膨脹ヲ重ネテ居リマスノデ、是ハドウシテモ革正シナケレバナラスト云フ方針デアッテ参ッテ居ルノデアリマスカラ、今御質問ノ地租ノ附加税ガ七分ノ一ツツ殖エテ参リマススト云フコトニナリマス、ソレニ對應シテ外ノ税ヲ、或ハ營業收益税ノ附加税ニナリマスガ、所得税ノ附加税ニナリマス

カ、家屋税ノ附加税ニナリマスガ、兎ニ角ソレダケ外ノ税ニ於テ負擔ヲ輕減スル、地

方團體全體トシテハ負擔ニ増減ガナイヤウニ致サウト考ヘテ居リマス

○藤田四郎君 略、分リマシタガ、サウスルト昨日内務大臣ノ御説明ニナリマシタ地方税ハ平均シテ殖ヤサスト云フノハ、此改正案ガ昭和六年度ノ分ニ對シテノコトデ、後ニハ關係ナイト心得テ宜シイノデスカ

○政府委員(次田大三郎君) 昭和六年度ハ現在通りノヤリ方ヲ致ス積リデアリマス、ソレカラ昭和七年度以降ハ制限率ガ昭和十二年度マデノ間ニ於テ差額ノ七分ノ一ツツ或ハ或團體ニ於テハ増加イタシマス、外ノ團體ニ於テハ減少イタシマスノデアリマスガ、ソレト同時ニ外ノ税ニ於テ、丁度地租ノ附加税ノ増シマス所ハ外ノ税ヲ減ジ、地租ノ附加税ノ減ジマス所ハ外ノ税ヲ増シマスカラ、地方税全體トシテハ、其團體全體トシテ考ヘレバ増減税ガナイト云フコトヲ昨日内務大臣ガ御答ヘシタモノト思ヒマス

○藤田四郎君 サウスルト昭和六年度ハ昨日内務大臣ノ言ハレタ通りニ解シテ宜シウゴザイマスガ、其先キノ方ハ片ガ増シテ行ッタカラト云ッテ、ソレハ片方減スト云フ形デハナイノデスカ

○水野鍊太郎君 チョット關聯シテ分ルヤウニ説明ヲ申上ゲタイ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイマス

○水野鍊太郎君 明治四十一年法律第三十七號中ノ改正案ニ付テ附則トシテ七八項アリマス、ソレハ今問題ニナッテ居ル所デア、疑ハ何處ニアルカト云フト、斯ウ云フコトデハナイノデスカ、昭和六年分ニ限ッテ昭和六年地租附加税ニ付テハ、是ハ從來ノ通りデア、附加税額ヲ變ヘナイ、斯ウ云フコトデセウ、是ハ從前ノ規定ニ依ルトアリマスカ、ソレデア、昭和六年度分ハ變ヘナイ、昭和七年カラ昭和十二年間ニ於テハ、是ハ順次ニ、増ス所ハ一時ニ増サヌ、減ル所ハ一時ニ減ラサナイデ、ソコニ調節ヲ圖ルト云フノガ、四項、五項ノ規定デス、デスカ、四項ニハ合算額ニ達セザル場合、其次ノ項ニハ合算額ヲ超ユル場合、是ガ増減ノ場合ヲ見テ居ル、此時ニハドウアルカト言ヘバ、勅令ヲ以テ第一條又ハ第四條ノ制限及第五條一項ノ制限ヲ超過シテ課税スルコトヲ得、若クハ其制限内ニ於テ之ニ代ハルベキ課税ノ制限云々、斯ウアル、ソレデスカ、是ハ法律ノ上カラ見レバ課税ヲシテモ宜ケレバ、シナイデモ宜イ、法律ノ上カラ制限外ノ課税モ出來レバ制限内ニ止メルト云フコトモ法律ノ上ニ出來ル、昭和

和六年度ハ出來ナイ、此方ハ任意ノ規定ヲ設ケテ居ル、ソコデ私ハ餘裕ヲ見タノデア、ラウト思フ、ソレデア、法律ノ上デハ

ドノ増シテ行ッテモ宜イ譯デア、但シ内務省ノ方針トシテハサウ云フコトヲヤラナイノデ、是ハ方針デ、法律上ノ規定デナイ、ソレデスカ、其時ノ府縣知事、内務大臣ノ考ニ依レバ、モット増ス場合モ出來ル、モット減ス場合モ出來ル、是ハ單純ニ、今ノ内務大臣ナリ今ノ次田君ナドハ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ルデデア、法律上ノ義務デヤナイ、其時ノ事情ニ依ッテ隨時ニ行政ノ手心ニ依ッテドチラニデモ行ケルヤウニシテ置カ、斯ウ云フ譯デアリマセウ

○森田福市君 私ガ一番先キニ昨日ノ續ヲ問ウタノデアリマス、サウシタ他ノ人カラ之ニ關聯シテ説明セヨト云フノデ、政府委員ハ私ノ質問ニ答ヘズ、之ニ對スル質問ノ答辯ニアラズシテ、提案ノ理由ノ説明ヲナサ、ソコデ私ノ質問ヲ繼續シテ行カヌト一向要領ヲ得ヌノデアリマスガ、ドンドン外ノ方カラ關聯シテ、ソレガ本家ニナッテ、本當ノ本家が隱居ニナッテシマッタノデ、是ハ御考慮ヲ願ッテ置カヌト昨日モ進マズ、今日モ進マズ、之ヲ一ツ濟マシテ置キタイト云フコトダケヲ一言申シテ置キマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) チョット、藤田君、水野君ガ濟ミマスマデ御猶豫ヲ願ヒタイ

○水野鍊太郎君 藤田君ノ疑ハ尤ト思フ、其疑ガ明瞭ニナラナケレバ地方税附加税ノガ將來増シテ行クカ減ッテ行クカ、殊ニ七年ガドウ云フ風ニナルト云フコトヲ、藤田君ガ疑ヲ起サレテ先程御質問ニナッタガ、疑ノ起ルガ尤ダト思フ、ト申シマスノハ、此規定ノ書キ方ガ非常ニ複雑シテ居ル、チヨット條文ヲ讀ンダケデハ中ミ分リ難イノデアリマスカ、ソコヲ明カニシテ置クト云フ御質問ハ此法案審査ノ上ニ最モ適當ナ御質問ト考ヘル、サウシテ政府委員ノ御答ハマダソコ迄ニキツチテ居ラヌヤウニ私ハ思ッタノデアリマスカ、マア牽聯シテ只今申シマシヤウナ意味デア、私ハ信ジテ居ルガ、ソレデ差支ナイカ、其通りデア、カト云フコトヲ御伺ヒシテ、ソレニ對シテ十分御説明ガゴザイマスレバ此條文ノ意味ハ分ルダラウト思ヒマス

○政府委員(次田大三郎君) 只今水野サンガ御話ニナリマシヤウニ、此法律ダケデ考ヘマスレバ、四項ノ方ハ制限ヲ超過シテ參リマスノデアリマス、五項ノ方ハ制限内ニ別ニ制限ヲ定メルコトガ出來ルト云フ風

ノ規定ニナッテ居リマシテ……

○水野鍊太郎君 爲シ得ルノデスカ

○政府委員(次田大三郎君) ハイ……御疑

ガ出來タコトト思ヒマスガ、此點ハ衆議院ニ於キマシテモ勅令ヲドウ定メルカト云フ御質問ガゴザイマシテ、ソレニ對シテ内務大臣ガ先刻御説明ニナリマシタト同ジヤウナ説明ヲシテ居タノデアリマス、ソレデ此法律ガ幸ニ兩院ノ御協賛ヲ得テ法律ニナリマシタ、直グニ其勅令ヲ、今内務大臣ガ申シマシタ趣旨、即チ七年間ニ漸次増加シ漸次減少スルト云フコトニ勅令ヲ定メル考デ居ルノデアリマス、其勅令ガ一旦出マスレバ……尤モ其勅令ヲ改正スレバ別デアリマスルガ、大體七年間ニ、増スモノハ漸次増シテ行ク、減ルモノハ漸次減ッテ行クト云フコトガハッキリスルコトニナルト存ジマス

○藤田四郎君 マダ私ノ趣意ガ能ク分リマセヌケレドモ、ソレハ措キマシテ、サウ致シマスト假ニ毎年七分ノ一ヅ、増シマシテ昭和十年ニ至リマス云フト、例ヘテ言ヘバ東京府ニ於テハ府税ガ三百八十四萬圓、ソレカラ市税ガ三百五萬圓合セテ六百八十九萬圓、是ガ如何程ニナリマスカ、若シ假ニ毎年許サレテ増税スルト云フコトニナリ

マシタラ……

○政府委員(次田大三郎君) 東京府ノ分ハ

地第八號ノ二、地租附加税異動表、其ノ一トアリマス、ソレノ東京ノ所ノ増三百八十一万七千圓ト書イテアリマス、其平年度ト書イテアリマスノガ、即チ昭和十三年度ニ於テ斯ウ云フ數字ニナルト云フコトヲ現ハシタノデアリマス、現行ハ三百三十六万圓ノ制限額デアリマスガ……東京府ノ制限額デアリマスルガ、其制限ガ昭和十三年度ニナリマスト云フト五百十八万五千圓ニナルノデアリマス、東京市ノ方ハ……

○藤田四郎君

分リマシタ、サウ致シマスルト合セテ六百八十九万圓ト云フモノガ昭和十二年ニ至テ是ダケ増ニナルト云フ譯デスカ、サウシマスルト是ダケノモノガモウ増サウト云フ頭ヲ以テ是ハ出來テ居ルノデスカ

○政府委員(次田大三郎君)

是ハ先程申上ガマシタ通り其團體ノ財政狀態ナリ、其府縣ナラバ府縣會、東京府デ申シマスレバ東京府會ノ意思ニ依ッテ決スルコトニナルノデアリマス、此五百十八万五千圓ト申シマスルモノハ、大正十三年度ニ於テ東京府ガ制限一パイ、即チ内藏兩大臣ノ許可ヲ得ルニ及バズシテ課税スル金額ヲ示シタモノデ

アリマシテ、此制限一パイノ地租ノ附加税ヲ取りマスルカ、取りマセスカト云フコト

ハ東京府ノ任意ニナル譯ナノデアリマス、政府トシテハ是ダケノ金ヲ若シ東京府會ガ欲スルナラバ法律上ハ取り得ルト云フコトニナルノデアリマス、併ナガラ一方東京府ノ歳出ノ方ヲ濫ニ増加スルコトハ、一般地方團體ノ財政監督ノ上カラ許サナイ方針デ居リマスルカラ、是ダケノ税金ヲ取ラス積リデアルト云フ考ハ毛頭ナイノデアリマス、ソレナラバ何故斯ウ云フヤウニ課率ヲ決メタカト云フ御質問ガアリマセウガ、是ハ前申シマシタ通り全國ヲ通ジテ地方團體ヲ今マデト同様ニスルノニハドウ云フヤウナ課率ヲ定メタナラバ定マルカト云フコトデ計算イタシマシタノデ、此計算ノ仕方ハ從來地租本税ニ異動ガアリマスル時ニ、附加税ヲ從來通り取ラスコトトシテ課率ヲ定メテ居ルノガ今マデノヤリ來リナンデアリマス、團體ニ依リマシテハ其爲ニ餘計取過ギルト云フヤウナ團體モ出テ來マス、又取レナイデ困ルト云フヤウナ團體モ出テ來ルノデアリマスルガ、全國ヲ通ジテ統一的一ノ制限率ヲ定メマス關係上、斯ウ云フ結果ヲ生ズルノデアリマス、此結果ニ基イテ東京府ハ果シテ其地租ノ附加税ニ付テ更ニ三百

八十一万圓ヲ取ルコトニナリマスカドウカ、私ハサウ云フコトニハ萬々ナラナイモノト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君

チョット私伺ヒマシガ、大藏大臣ガ御出ニナル時間ガ御分リデアリマセウカ、若シ御出ナレバ大藏大臣御出ノ上デチョット今ノコトヲ伺ヒタイノデスガ如何デスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君)

直キ御出ニナリマスカラ、十分程休憩イタシマス

午後二時四十一分休憩

午後三時九分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君)

休憩前ニ引續キマシテ開會イタシマス

○子爵大河内輝耕君

先刻大藏大臣ノ御出席ノ前ニ地方税制限ニ付テノ質問ガ出マシテ、大體私共能ク分リマシタ、尙ホ大藏大臣ガ御出ノ時ニ、簡單ニ其事ヲ御認メテ願ッテ置キタイト存ジマス、ソレデ政府委員ト質問應答ヲ重ネマシタ時ニ、此參考書ニ依リマシテ、地第九號、之ニ付テ伺ッタノデスカラ、チョット大藏大臣モ此參考書ヲ一應見テ頂キタイト思ヒマス……ソレデハ御尋ヲ續ケマスガ、地第九號ノ東京ト云フ下ニ一番下ノ行ニ四百六十三万五千圓ト斯ウアリマス、是ハ現行地租額トソレカラ今度地

租法ノ改正ニ依リマシテ生ジマシタ……詰リ地租ハ是ダケ四百六十三万五千圓殖エルモノデアルト、斯ウ承知シテ宜シイノデアリマス

○國務大臣(井上準之助君)

是ハ即チ七年後ニナリマシテ第二同ノ賃賃價格調査ノ時即チ今後七年間ノ最終ニ至リマシテ是ダケ殖エルノデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君

サウ致シマス此四百六十三万五千圓ノ七分ノ一ツ、年々殖エルモノ、斯ウ承知シテ宜シイノデスカ

○國務大臣(井上準之助君)

道理ハサウデゴザイマスガ、先刻内務省ノ政府委員カラ御答ヘ致シタト思ヒマスガ、即チ制限額ニ依リマシテ七年後ニ全部殖エルモノト致スト斯ウナリマスガ、實際ハ斯様ニ殖ヤスカ殖ヤサナイカハ其時ノ公共團體ノ事情ニ依ルコトト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君

能ク分リマシタ、ソレデ最高殖ヤストスルト四百六十三万五千圓ニナル、併シ實際ノ實情ニ依ッテソレダケ殖ヤス必要ノナイ場合ハ成ルベク殖ヤスヌヤウニシテ済マセタイト云フコトハ能ク分リマシタ、地租ハソレデ宜シウゴザイマスガ、其際ニ今度ノ税制案ハ増税デアルヤ否ヤト云フ問題ガ出マシテ、政府委員ノ説

明ニ依レバ、成程一パイニヤルトスレバ四百六十三万五千圓ダケノモノハ殖エルガ、併シハ一方ニ於テ營業收益稅ノ附加稅竝ニ所得稅ノ附加稅ヲ矢張り七年度ニ互テソレダケ減ズルコトニナルノデアアルカラ、増稅ニハナラナイ、斯ウ云フ御説明デアッタノデアリマス、是モ御認メ下サイマスカ

○國務大臣(井上準之助君) 其通りデゴザイマス、是ガ殖エルニ從ヒマシテ、他ノ稅ヲ整理イタシマシテ、同額或ハ同額以上モ是デ減サウト斯ウ云フ覺悟デ居リマス

○子爵大河内輝耕君 其覺悟ト仰シヤイマスノハ、政府ノ御方針デアルト、必ズ地方團體ヲシテヤラセルト、斯ウ承知シテ宜シイノデゴザイマスカ

○國務大臣(井上準之助君) 左様デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデアリマス、引上ノ方ニナリマス、法律ノ制限ヲ引上

ガレバソレダケ引上ガレマスカ、引下ノ方ニナリマス、法律ヲ其爲ニ直スト云フコトハ出來ナイコトダト存ジマス、サウ致シマス、此制限ニ對シテ政府ガ東京市其他ヲマア強制シテ……ト云ヒマスカ、ヤラセルコトニ付キマシテハ、如何ナル行政上ノ形式ヲ執ラル、ノデアリマスカ、今ノ内

容ハ成程四百六十三万五千圓一方デ殖ヤセバ、他ノ方デ四百六十三万五千圓減スト云フヤウニ御ヤリニナリマセウケレドモ、法律上ニ根據ガナイト云フト、如何ニモ其點ガ不安心ノヤウニ思ハレマスカ、其點ハ如何ナモノデアリマスカ

○國務大臣(井上準之助君) 私カラ一應政治上ノ意味ヲ答ヘテ、政府委員カラ補足イ

タサセマス、先刻大橋氏ノ質問ニ對シテ答ヘマシタヤウニ、地方稅ノ増加ト云フモノガ非常ニ巨額ナモノデアリマシテ、此點ニ付テハ之ヲ段々減シテ行カナケレバナラヌト云フ政治上ノ見地カラ出發イタシテ居リマスノデ、我ニ於キマシテハ殖ヤサズニ減サウト、斯ウ云フ點デ參リマスカ、只今ノ地方ノ附加稅ノ制限率ノコトニ付キマシテハ、政府委員カラモウ一應御答ヘ致サセマス

○政府委員(次田大三郎君) 東京市其他ノ

都市ニ於キマシテハ、ホンノ四五ノ例外ヲ除ク外ハ、百十ノ日本ノ市ガ殆ド全部三國稅ノ制限一パイ若クハ制限外ノ課稅ヲ致シテ居ルノデアリマス、制限外ノ課稅ヲ三國稅ニ付テ致シテ居リマスル場合ニ於テ、地租ノ制限トカ地租ノ附加稅ノ制限率ガ今度法律デ變リマシタ結果トシテ、其制限額以

下ニ現在ノ地租ノ賦課額ガ落チルト云フ場合ニ於キマシテ、ソレヲ制限一パイニ取ラウト云フコトニナリマスカ、營業收益稅附加稅、所得稅附加稅ノ制限外課稅ノ許可ノ申請ヲ內務大藏兩大臣ニ致シマシタ際ニ、其團體ニハ、地租ノ課率地租ヲ制限一パイニ取ルコトニ依ッテ從來ヨリカ是ダケ餘計ノ財源ヲ得タデハナイカ、從ッテ是ダケ得タ所ノ財源ハ所得稅ノ附加稅、營業收益稅ノ附加稅ニ於テ制限超過ノ賦課ヲソレダケ減ズベキモノデアルト云フコトデ、其營業收益稅ノ附加稅、所得稅ノ附加稅ノ制限外課稅ノ許可ヲ致シマス際ニ、之ヲ抑ヘルコトガ出來ル譯ナノデアリマス、其外家屋稅ノ附加稅ニ付キマシテ……家屋稅ニ付キマシテモ、各府縣トモ其賦課ニ付テ內務省ノ許可ヲ得テ居リマスカ、其許可ノ際ニ、其團體ノ財政狀態ヲ調べマシテ、其稅ヲ減セシムルコトガ出來ルト考ヘマス、是ハ三國稅ヲズト足

竝ヲ揃ヘテ、一ツノ國稅ヲ、三國稅ノ一部分ノ國稅ニ付テ、國稅ノ附加稅ノ制限外課稅ヲ致シマスルキニハ、少クモ……總テノ國稅ノ附加稅ガ少クモ制限一パイ迄ハ賦課シテ行カナケレバナラナイト云フコトハ地方稅制限ノ法律ノ精神カラ明カナコトデアリマシテ、其方針デ內務省ハモウ何十年

來ヤリ來ッテ居ルノデアリマス、是ハ內閣ガ假ニ更ルト云フヤウナコトガアリマシテモ此方針ガ、此ヤリ方ガ變ルト云フヤウナコトハ考ヘラレナイト存ジマスルノデ、其方法ニ依ッテ歲出ノ増加サヘナケレバ、地租ノ附加稅ニ於テ増シタ所ノモノハ、外ノ國稅ノ附加稅若クハ家屋稅附加稅等ニ於テ減サスコトガ出來ルト信ジテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマスルト、

假ニ東京市ナラ東京市ガ所得稅竝ニ營業收益稅ノ附加稅ニ付テ制限外課稅ヲヤッテ居ル、ソレデアアルカラ此地租ノ附加稅ガ四百六十三万五千圓ノ七分ノ一ツ、假ニ殖エルトシマスレバ、法律ニ從ッテソレニ相當スル額ヲ此制限外課稅カラヤメサセル、詰リ今迄認可シテ居タ制限外課稅ヲ取消スノダト、斯ウ云フヤウニ解シテ宜シイノデスカ

○政府委員(次田大三郎君) 今マデ許可シ

テ居リマシタ制限外課稅ノ額ヲ、其地租ノ附加稅デ餘計ニナリマスカケ減ラシテ許可スル考デアリマス

○子爵大河内輝耕君 能ク法律關係ハ存ジ

マセヌガ、一度制限外課稅ヲシテシマッタモノヲ、サウ云フ理由デ今迄ハ、此處マデハ制限外課稅ガ宜イ、今度ハ斯ウナッタカラ、其制限外課稅ハソコ迄イケナイノダ、モット

下ゲロト云フコトハ差支ナイノデスカ

○政府委員(次田大三郎君) 制限外課税ノ許可ハ年々ヤッテ居リマス、一年限りデヤッテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 段々能ク分ッテ來マシタガ、サウスルト東京市ハドウカ知リマセヌガ、或所ニ依リマス、地租ガドン上テ來ル、一方ニ減ッテ來ル、到頭制限ノ以下ニ落込ムドラウト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニハドウシマスカ

○政府委員(次田大三郎君) サウ云フ團體ハ一々ノ團體ニ付テ調ベタ譯デアリマセヌカラ、例外ナシニト云フコトハ申上ゲ兼ネマスガ大多數ノ都市ニ於キマシテハ、矢張り地租ガ増額イタシマスコトニ依ッテ、他ノ國稅ノ附加稅ノ制限外課稅ガ全部ナクナルト云フノハ、極ク少イデハナイカト思ッテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 スウ解シテ如何デアリマスカ、例外デナイモノハ制限外課稅ガ下ヘ來ルマデ地租ヲ上ゲル、ソレカラソレヨリ下ヘ落込ム場合ハ地租ノ上ゲ方ヲ止メテ置ク、斯ウ云フ風ニ解シテハイケマセヌカ

○國務大臣(井上準之助君) 實質ハ大河内子爵ノ御尋ノヤウニナリマセウ總額ハ……

併ナガラ片方ニ制限外課稅ガ、營業收益稅或ハ所得稅ノ附加稅ガ無クナッテ居ル、其場合ニ地租ノ附加稅ノ方ガ七年後ニ上ッテ行ク、其場合ニ地租ノ附加稅ノ方ヲ上ゲズニ置イテ、サウシテコッチノ附加稅ノ方ハ制限一パイニ行クコトガアルカト云フト、法律上ハサウ參リマセヌヤウデス、地租ノ附加稅ノ方ハ矢張り制限外マデハ上ラナクテモ、其制限一パイヲ取ルカ取ラヌカハ、其公共團體ノ自由デアリマス、無關係デアリマス、併シ片方ハ制限以內ニ凹マシテ行ク

ノデアリマシテ、ソコニナリマシタナラバ法律ヨリモ政治上ノ監督デ行クヨリ仕方ガナイノデ、是ハ監督デ行クヨリ外デアリマセヌガ、今日ノ所デハ餘程少イト思ヒマス、制限外課稅ヲ取去ッテシマッタナラバ、地租ヲ上ゲタノデ丁度宜シイト斯ウ考ヘテ、マダソレデモ一方ノ二ツノ國稅ニ對シテハ、附加稅制限外課稅ガマダ殘ルデアラウト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 事實只今大藏大臣ノ御説明ノヤウナラバ、ソレデ宜カラウト思ヒマス、併シ若シサウデナイトスレバ、又前提ガ崩レテ來テ極端ナコトヲ言ヘバ、政府ノ説明ガ當デニナラナイト云フ問題ガ起ル、ソレデスカラ能ク政府ノ方デモ御調べ

ニナッテ、ドレダケ極メテ稀ナル例外ト云フモノハ有ルノカ無イノカ、有ルナラバドレダケト云フコトハ、此委員會デハハッキリサシテ置キタイト思フ、幸ヒ今政府委員カラ御説明ノヤウニ、極メテ少イト云フコトデアレバ、或ハ大局カラ見テ大シタコトハアルマイト思ヒマスケレドモ、極メテ少イト云フ御説明ノ下デ、又能ク調べテ見ルト又殖エタリスルト云フト、折角ノ御説明ガ其爲ニツマラナイ時間ヲ費シタリシマスカラ、如何デアリマスカ

○國務大臣(井上準之助君) 承知イタシマシタ、早速著手イタサセマシテ差上ゲマス

○子爵大河内輝耕君 內務省ノ政府委員ニ申上ゲマスガ、愚念ヲ抑スヤウデスガ極メテ少ナイト仰シヤッタノハサウデナイトイケマセヌカラ、少ナクナケレバ今少ナクナイト云フコトヲ仰シヤル方ガ宜イ、サウデナケレバ我ミハ少ナイモノト解シテ進メテ行キマスカラ、如何デアリマスカ、凡ソ御見込デ宜シウゴザイマス、是ハ事業デスカ

ラ一々御記憶ガナイカ知レマセヌ、違ッテテ御責メハ致シマセヌ、御責メハ致シマセヌガ、餘リ説明ガ違ッタリスルト、又ソコニ面倒ナ問題ガ起ッタリシテハイカスト思ヒマスカラ、如何デアリマスカ

○政府委員(次田大三郎君) 今日百十ノ日本ノ市ノ中デ制限外課稅ヲ致シテ居リマセヌ都市ガ、確カ四ツカ五ツカアリマス、其外ハ相當重イ制限外課稅ヲ致シテ居リマスガ、是ハ調査ヲ致シマシテ、ハッキリシタコトヲ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ今ノ説明デ能ク分リマシタカラ、極メテ少ナイカ少ナクナイカト云フコトモ伺ハナイコトニ致シマシテ、他日御調査ニ依ッテ質問ヲ、必要ガアレバ致シマス

〔水野鍊太郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 大河内君ハ宜シウゴザイマスカ

○子爵大河内輝耕君 宜シウゴザイマス

○水野鍊太郎君 只今地方稅ノコトガ問題ニ相成ッテ居ルノデアリマスガ、地方稅ノコトニ付テハ、主トシテ內務大臣ガ主管サレテ居ルノデアリマスカラ、內務大臣ニ伺フノガ順序ト思ッテ居リマスガ大藏大臣モ地方財政ノ監督ヲ爲サルノデアリマスカラ、大藏大臣ノ意向モ此際伺ッテ置キタイト思フノデス、御承知ノ如ク、先程大橋君カラモ御話ニナリマシタ地方費ノ増加ト云フノハ、年々逐ウテ著シク相成ルノデアリマス、今日デハ十七億バカリ、或時ニハ十八億ニ

達シタコトモアル、今デハ國費ヲ凌駕シテ居ルト云フ有様デス、是ハ實ハ私共モ地方行政ノ局ニ當テ居リマシテ、此増スコトガ善イカ惡イカト云フコトニ付テハ、考慮シナケレバナラスガ、コンナニ増シタコトガ善イカ惡イカト云ヘバ、其責任ヲ問ハナケレバナライト思ヒマスガ、併シ事實地方ノ財政ガ膨脹シテ、地方費ノ増加ト云フコトニ付テハ、勢ノ免ルベカラザルコトナノデアリマス、申スマデモナク、國運ノ進歩ト文化ノ發展等ニ伴ヒマシテ、地方ニ於テ爲スベキ事業ガ非常ニ多クナッテ來ルノデアリマス、先程井上大藏大臣モ國ノ方面ノ義務費ノコトヲ御話ニ相成リマシテ、而シテ是ガ七億バカリアル、地方財政ニ於テモ同ジ義務費ニ屬スルモノガ隨分アル、例ヘバ小學校ノ費用ノ如キ、是ハ義務費ト申シテモ差支ナイト思ヒマスガ、年々就學兒童ノ數ハ殖エテ、從テサウ云フ兒童ヲ收容スル所ノ學校ト云フモノガ非常ニ多クナッテ來ル、又多クセネバナラス、デ學校ノ増築ト云フコトモ出テ來ル、小學校教員モ増サネバナラス、其俸給モ時勢ニ伴ッテ増シテ行カネバナラスト云フコトモアル、又道路交通ノ關係カラ見マシテモ、近時交通ガ發達イタシテ、殊ニ自動車ノ發達ニナリマスルト

云フト、地方ニ於ケル道路ノ改良ト云フコトモヤラナケレバナラス、今日デハ交通ノ機關ノ寧ロ不備ヲ感ジテ居ル位デアリマシテ、國道ニ於テモ左様デアリマス、府縣道ニ於テモ同様デアリマスガ、道ハ崩レテ來ル、橋ハ破レテ來ル、此橋ヲ通ルガ爲ニ水盃ヲシテ行カナケレバナラスト云フヤウナ狀況ヲ呈シテ居ル所モアルノデアリマス、其他傳染病ガ流行レバ、之ニ對シテ府縣市町村等ニ於テ、之ニ對スル所ノ施設ヲセナケレバナラス、又產業諸方面ニ於キマシテモ、種々ノ點ニ於テ灌溉ナリ、排水ナリ、耕地整理ナリト云フヤウナコトヲシナケレバナラスト云フヤウニ、必要ノ費用ト認メラルルモノガ年々逐ウテ殖エルノデアリマスカラ、勢ヒ地方費ハ膨脹シテ來ルノデアリマス、中ニハ其膨脹スル支出ノ中ニハ、不要ナルモノモ必シモナイトハ申シマセヌ、ケレドモ只今申シマシタルヤウナ事、其他地方ノ費目ヲ御覽ニナリマスレバ、警察費ト云ヒ、又社會政策的ノ諸支出ト云ヒ、年々サウ云フ支出ガ殖エテ來ル、勢ヒ地方費ガ増サザルヲ得ナイト云フ風ニ相成リマシタノデ、今日デハ誠ニ我ミガ見テモ驚クベキ地方費ハ膨脹シテ來ル、而シテ其財源トシテハ何ガアルカト云フト、此財源ガ窮

乏シテ居ルト云フコトモ、是ハ地方ノ實情ニ通ジテ居ル所ノ者ノ皆知ッテ居ル所デアリマス、ソレ故ニ地租ノ附加税ニシテモ、營業收益税附加税ニシテモ殆ト制限額マデ取ル所ガ多イノデアリマス、制限額ノミナラズ、場合ニ依ルト制限外課税ヲスルト云フ所ガ非常ニ多イノデアリマス、而モ其制限外課税ガ非常ニ重クナッテ居ルト云フコトモアリマス、只今次田君カラ御説明ニナッタ通り、我國ノ都市ガ百十バカリアリマシガ、其中制限外課税ノナイノハ僅ニ三四市ダト言ハレマスルガ、左様デアラウト思フノデアリマス、是ハ町村ニ於テモ亦同ジ、殊ニ町村ニ於テハ此財源ガ無イノニ苦シムト云フヤウナ譯デアアルノデアリマス、茲ニ於テカ、之ヲ如何ニシテ此地方費ノ膨脹ヲ阻止スルカ、如何ニシテ國運ノ發展ト地方ノ財政ノ膨脹トヲ調節スベキカト云フコトハ、是ハ御互ニ考ヘネバナラスコトト思フノデアリマス、然ルニ從來ノ實例ヲ見マスルト、大藏大臣ハ、地方ノ財政ヨリハ寧ロ國ノ財政ニ重キヲ置キマシテ、國ノ財政ヲ減スコトニ努力スルケレドモ、其結果地方ノ財政ニ重イ負擔ヲ増スト云フコトニ留意セラレナイデ、國ノ爲スベキコトヲ地方ニ轉嫁スルト云フ傾向ガアルコトヲ認メルノ

デアリマス、現ニ昨日問題ニナリマシタ救護費ノ財源ヲ警察費連帶支辨金ノ一部ヲ以テ之ニ充テルト云フガ如キコトモ其一例デアアルノデアリマス、ソレ故ニ内務省方面ニ於テハ、私ハ非常ニ苦心セラレテ居ルコトト思フノデアリマス、現ニ内務大臣ハ、昨年ニ於テ地方費ノ節約ヲ圖ラントシテ、各府縣ニ訓令ヲ出シタノデアリマスルケレドモ、其訓令ガ實行セラレズシテ、昭和六年度ノ豫算ヲ見マシテモ、二千七百萬圓以上増シテ居ルノデアリマス、地方費ノ節約ヲ圖ルト云フコトハ今日ハ私ハ餘程困難ト思ウテ居リマス、ソレハ其根本的ニ考ヘテ見マスルト、私ハ大藏省ト云ヒマスカ……大藏大臣ノヤリ方モ宜シクナイト思フノデアリマス、國ニ於テ爲スベキコトヲ、地方ニ轉嫁スルコトガ往々アルノデアリマス、又地方ニ於テハ國ガシテ呉レナイカラ已ムヲ得ズ地方デヤルト云フコトニナル、道路ノ如キモ、一體言ヘバ、國道ノ如キハ國デ負擔シテモ宜イノヲ、ナカ／＼國ガ之ヲシナイノデ、地方費ガ之ヲヤル、港灣ノ改築ニシテモ、河川ノ改修ニシテモ、是モ地方デ爲ストキニハ國ガ補助スルケレドモ、國ノ財政ノ關係デ出スベキ金ヲ出サナイ、從テ地方ノ者ハ已ムヲ得ズ、地方債ニ依ッテ之

ヲ支辨セネバナラヌ、少クモ地方債ノ利子
ダケハ餘計取ラレルト云フヤウナ關係ニナ
ル、此狀況ヲ大藏大臣ハ御了知ニ相成、テ居
ルカドウカ、又御了知ニ相成、テ居ルノナラ
バ、如何ニシテ之ガ救済ノ方法ヲ講ゼラル
ルト云フ御考デアアルデアウカ、根本論ト
致シマシテハ國ガスベキコトヲ、地方ニヤ
ラセル、國ノ官吏ノ費用ガ少イ、人數ガ少
イト云フト、地方デハ地方官吏員ト云フ者
ヲ置イテ、地方費カラ俸給ヲ拂テ而シテ其
吏員ニ國ノ仕事ヲサセルト云フヤウナコト
ニナル、國ニ於テ中等程度以上ノ學校ヲ施
設スベキモノヲ、ソレヲ國ガシナイガ爲ニ
已ムヲ得ズ地方ガサウ云フ學校ヲ施設スル
ト云フヤウナコトガアル、例ヘバ高等學校
ノ如キハ國ガスベキモノヲ、國ガシナイガ
爲ニ、地方ガ爲スト云フコトモアルノデア
リマス、斯ノ如キ狀態デアリマシテ、私ハ
ドウモ今後此地方ノ財政ニ付テハ、ドウ云
フコトヲシテ宜シイカト云フコトハ、私共
モ實ハ適當ナ案ヲ持ッテ居ルモノデハナイ
ノデアリマス、併シ此儘ニシテ置キマスレ
バ、地方ノ財政ト云フモノハ日ニ日ニ殖エ
テ來ル、殖エルト云フコトハ必シモ惡イト
ハ申シマセヌケレドモ、其財源ニ窮スルト
云フコトハ、是ハ爭フベカラザルコトデア

リマス、故ニ已ムヲ得ザレバ國カラ財源ヲ
供シテモ、地方團體ノ疲弊困憊ヲ救フト云
フヤウナ、政治的計畫ガナケレバナラヌ、
又一面ニ於キマシテハ、地方ニ於キマシテ
ハ、是ハ露骨ニ申シマス、政黨關係ト云
フヤウナモノガアリマシテ、甲ノ道路ヲ造
ル、乙ノ港灣ヲ造ルト云フコトニナリマス
ルト云フト、政黨地盤開拓上、權衡問題ト
シテ、之ニ適應スル所ノ他ノ道路トカ港灣
トカヲ造ラネバナラスト云フヤウナコト
モ、中ニハ無キニシモアラズデアアルノデア
リマス、是ハ安達内務大臣ガ居ラレマスカ
ラ、私率直ニ御五ニ話ヲシタイト思ッテ居
タノデアリマス、ソレガ爲ニ無用ノ工事モ
アリマス、ソレ等ノコトハ私ハ今後何レノ
政黨タリ又何レノ内閣ガ其地位ヲ得ルト否
トニ拘ラズ是等ノコトハ餘程考慮セネバナ
ラスト思フノデアリマス、今日ノ中央ノ財
政ノ狀況ヲ見マシテモ、地方ノ財政ノ狀況
ヲ見マシテモ、或ル意味ニ於テ行詰リニナッ
テ居ルト云フコトヲ言ハレルノデアリマス
ルガ、或ハサウデアアルカモ知レナイノデア
リマス、而シテ一面是等ノ費用ヲ分擔スル
所ノ國民ト云フモノハ、商工業者ト云ハズ、
農民ト云ハズ、都市ト云ハズ、農村ト云ハ
ズ、隨分窮境ニ立ッテ居ルノデアリマス、是

等ノコトヲ考ヘマスレバ、私ハ一方ニ於テ
ハ之ヲ作り、一方ニ於テハ之ヲ壊スト云フ
如キ、ツマラヌ等ハシナイデ、寧ろ舉國一
致シテ此財界、經濟界、中央地方ノ狀況ニ
深ク意ヲ致サネバナラスト云フコトヲ痛感
シテ居ル次第デアリマス、井上大藏大臣ガ
局ニ當ラレマシテ以來、隨分御苦心ヲナサ
レテ、整理節約ヲサレタノデアリマス、併
シナガラ整理節約ノ結果ガ味ク行ッテ居ル
カト云フト、甚ダ失禮ナ申シ分デアリマス
ガ、必シモサウ云フ風ニハナラヌヤウニ思
フ、併シ過去ノコトハ申シマセヌガ、今後
是等ノコトニ思フ致シテ、國ヲ憂ヘル者ハ
深ク今後ノ大方針ヲ定メナケレバナラスト
思ヒマス、茲ニ於テカ私ハ井上君ニ伺ヒタ
イノハ、是等ノ點ヲドウ云フ風ニ御考ヘニ
ナッテ居ルカ、又是等ニ對シテ、中央財政ノ
局ニアラレテ、而シテ同時ニ地方財政ノコ
トモ能ク御考ヘニナッテ居ラレルヤ否ヤ、幸
ニ明年度ニ於キマシテ行政財政稅制ノ整理
ヲナサルト云フコトデアリマスガ、誠ニ是
ハ結構ナコトデアリマスルガ、此點ニ付テ
ハ私ハ思切ッテ御考慮ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス、併シ行政ノ整理、財政ノ整理、
稅制ノ整理ト云フコトハ、言フニ易ク行フ
ニ難イノデアリマス、隨分是迄モ行政整理

委員會トカ、行政制度調查會トカ、色ミナ
モノガ出來マシタガ、遂ニ何等爲ス所ナク
シテ終ッタト云フヤウナコトモアルノデア
リマスカラ、私ハ此政府ガヤルコトニナル
カ他ノ政府ガヤラレルコトニナルカハ分リ
マセヌケレドモ、ソレハ何レノ政府ガヤル
ニ致シマシテモ、何レノ政黨ノ人ガヤルニ
致シマシテモ、斯ウ云フ點ニハ深ク思フ致
サレテ、極ク公平ニ又適切ナル整理ヲ爲サ
ルヤウニ致サレネバ相成ラスト思フノデア
リマス、是等ノ事ニ付キマシテ、少シ脱線
シテ申上ゲタノデアリマスケレドモ實ハ忌
憚ナキ自分ノ衷情ヲ申述ベタノデアリマ
ス、幸ニ大藏大臣ガ亦同ジク胸襟ヲ開イテ、
忌憚ナキ御意見ヲ承ルコトガ出來レバ幸ト
思フノデアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 只今水野氏ヨ
リノ御説ハ全く同感デアリマス、ソコデ我
我ノ考ヘテ居ルコトヲ簡單ニ申上ゲテ見マ
スト、御手許ニ上ゲテアリマスル地方財政
概要ノ表ノ六頁ヲ御覽下サイマスト、一番
多イ費用ハ教育費デアリマス、其次ハ土木
費、衛生費、此三項目ガ一番地方ノ大キナ
歳出デアリマスガ、之ヲドウシテ整理スル
カ、今水野氏ノ言ハレル如ク國カラ財源ヲ
地方ニ與ヘルカ、ドウ云フ風ニシテ之ヲ整

理スルカ、斯ウ私ニ御問ニ對シテ、私ノ考

ヲ申上ゲマスト、教育ノ整理ハ非常ニ困難

デアリマスガ、只今マデノ地方ノ教育費ノ

増加ノ趨勢ト、今日經濟界ノ急變ニ依リマ

シテ、地方ノ教員ノ俸給ト云フモノニ付テ

彼レ此レノ地方ニ於テ議論ノアルコトモ考

ヘテ見マスト、年々此教育費ノ増加スル點、

殊ニ茲ニ計上イタシマセヌ即チ一家庭ニ於

テ子弟ノ教育ノ爲ニ使用スル教育費ト云フ

モノト合計イタシテ見マスト、殆ド今日ノ

經濟界デハ、私ハヨウ堪ヘヌ程ノ費用ヲ拂

テ居ルト考ヘテ居リマス、此點ニ付キマシ

テハ文部省ニ於テモ地方教育ヲ、平易ナ言

葉デ申シマスト、モウ少シ安ク、同一ナ教

育ヲシテ、安ク教育ノ出來ルヤウニ方針ヲ

變ヘテ研究セヌケレバイカスト云フコトヲ

我々ハ豫テ申合フテ居ルヤウナ次第デアリ

マシテ、此點ニ付テドレダケノ改善ガ今後

出來ルカ知レマセヌガ、其點ニ付テ餘程研

究シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、ソ

レカラ第二ノ土木費ト云フモノガ、是ガ只

今御話ニナリマシタ河川、港灣費モ入リマ

スガ、大體ヲ申シマスト、地方ガ獨立シテ

使ッテ居ル金ガナカク多イノデアリマス、

此點ニ付テ地方デハ大體ヲ申シマスト、何

處ニ行キマシテモ道路ト云フモノガ餘程大

キナ費目ヲ占メテ居リマスガ、斯ウ云フ點

ニ付テモ私ハ餘程節スル餘地ガアルト斯ウ

思ヒマス、次ニ衛生費ノ如キ、是ガ三科目

ヲ通ジマシテ中央政府カラ法律命令ニ依

テ地方ガ其自然ノ結果トシテ費用ヲ負擔セ

ヌケレバナラヌモノガ莫大ニアルノデアリ

マシテ、私ハサウ云フ點ニ付キマシテ、今

般行政整理ヲスルト言ヘバ、地方モ通ジテ

ヤラウ、又中央カラ地方ニ餘計ナ負擔ヲサ

シテ居ル點ヲ、十分事務ノ簡捷ヲ圖ッテ、ソ

レヲ省カヌケレバ教育費デモ衛生費デモ省

ケマセヌ、サウ云フコトヲ考ヘテ居リマシ

テ、又現在ノ公共團體ヲ見マスト、仕事ヲ

ヤリナガラ歳入缺陷ノアル公共團體ガ數限

リモナク多イノデアリマス、サウ云フ今日

ハ狀態ニナッテ居リマス、私ハ財源ヲ研究シ

テヤル、斯ウ云フコトヨリモ、今日ノ所デ

ハ今日ノ時代ニ應ズルヤウニ、地方ノ一ツ

歳出ヲ減ジラレルダケ減ジテ見テ、サウシ

テ其後ニ財源ト云フモノハ考ヘルベキモノ

デナカラウカ、今日此儘ニシテ置キマシテ

相當ノ財源ヲヤリマシタナラバ、必ズ地方

デハ恐ラクハ整理緊縮ハ出來マセヌ、今般

ノ減税モ私モ研究イタシマシタガ、多數ノ

人カラ寧ロ國稅ヲ減ゼズニ、英吉利デヤッタ

コトガアリマスガ、今度ノ二千五百万圓ノ

稅ヲ全部地方ニ轉換シテシマッタラドウカ、

即チ地方ニ此財源ヲヤッテシマッタラドウカ

ト云フ御議論モアリマシタ、丁度義務教育

費ノ國庫負擔ノ増額ヲスルヤウニ、二千五

百万圓ノ金ヲ呉レテ、ソレダケ地方ノ減稅

ヲ圖ッタ方ガ、今日ノ時勢ニ勿論適合スルデ

ヤナイカト云フコトヲ言ハレマシタノデア

リマスガ、今般ノハ寧ロ地方ノ歳出ヲモウ

少シ切詰メテ、サウシテ後ニ財源ヲ研究ス

ルコトガ本當デナカラウカ、地方ノ今日ノ

狀態デ言ヒマスト、モウ殆ド或市ノ如キニ

ナリマス、多數ノ市ハ破産シテシマッテ

居ッテ、殆ド財政整理ガ收拾スベカラザル所

ガ澤山アリマス、市ダケデアリマセヌ、縣

ニモ澤山アリマス、甚シイノニ至リマシテ

ハ預金部カラ貸シテ居ル金ノ利息モ拂ハヌ

ケレバ、其年賦金サヘモ出セヌト云フヤウ

ナ縣ガアリ市ガアリ、サウ云フ狀態ニナッテ

居リマスカラ、左様ナ所ニハ多少ノ財源モ

考ヘテヤラヌケレバナリマセヌガ、根本カ

ラ言フト、私ハ歳出ヲ切詰メテヤッタ方ガ宜

シイ、サウ云フコトヲ考ヘテ、中央ノ整理

ヲスルヨリ、ヨリ以上ニ難儀デアリマスケ

レドモ、今日ノ地方ノ公共團體ノ財政狀態

ハ誠ニドウモ寒心スベキ狀態デアリマスカ

ラ、一昨年から地方費ヲ減サウ、斯ウ云フゴ

トヲ考ヘテ今日マデ參ッテ居ル次第デアリ

マス、甚ダ具體的ニ答辯ガ出來マス時代マ

デ進ンデ居リマセヌコトハ遺憾デアリマス

ガ、左様ニ思ヒマス

○水野鍊太郎君 大體ノ御答デアッテ……

能ク人ガ今井上大藏大臣ガ言ハレタコトヲ

言フノデアリマス、教育費モ減ラシタラ宜

カラウ、土木費モ減ラシタラ宜カラウ、衛

生費モ減ラシタラ宜カラウ、斯ウ云フヤウ

ナコトヲ言フノデアリマス、是モ頭カラ間

違ッテ居ルトハ申シマセヌガ、併シ是ハ私ハ

少シ地方ノ實情、今日ノ實況ヲ私ハ中央ノ

政治家ニ能ク見テ戴キタイト思フノデアリ

マス、今日地方殊ニ市町村ナドニ於テハ切

詰メルダケ切詰メテ居リマス、殊ニ只今御

話ニナリマシタ教育費、土木費ノ如キハ、

時ニハ成程、餘計ナモノモアリマセウ、ケレ

ドモ大體ニ於テハ非常ニ切詰メテ居ルノデ

アリマス、之ヲ其上ニ私ハ、切詰メルト云

フコトニナレバ、モウ學校モ止メタラ宜カ

ラウ、橋モ架ケナイデ宜シイ、傳染病ガ流

行ッテ來テモ避病院ナドヲ造ラナイデ宜シ

イ、是ナラバ行キマス、サウデナイ範圍ニ

於テ只今井上君ガ唯抽象的ニチヨット此表

ヲ今御覽ニナッテ、斯ウダト仰シヤッタ通リ

ニ行クモノデハナイノデアリマス、殊ニ今

日デハ小學校ノ子供ヲ入レル學校ノ設備ガ
足りナクシテ誠ニ憐ムベキ所ニ入レテ居ル
町村モアル、甚シキハ學校ノ二階ガ落チテ
兒童ニ怪我ヲサスルト云フヤウナ實例モア
ルヤウナ譯デアリマシテ、今日ノ地方團體
ニ於キマシテハ十分私ハ、實際ノ上ニ於テ
ハ出來ルダケノ整理節約ヲシテ居ルト思フ
ノデアリマス、此上ノ整理節約ヲ爲スト云
フコトハ丁度國ノ事情ニ付テ整理節約ヲ爲
サツタノデアリマスガ、其結果ハ失業者ヲ出
シ、不景氣ヲ招來シタヤウナコトニナツタ
同シデ、地方ニ於テサウ云フヤウナコトガ
唯單ニ十分ニ出來得ルト云フ風ニ御考ニナ
レバ、是ハ私ハ正鵠ヲ必ズシモ得タモノデ
ハナイト思フノデアリマス、是ハ大藏大臣
デナク、地方ノ實情ニ即シテ行政整理ヲ爲
サレテ居ル内務大臣ガ御考慮ヲセネバナラ
ヌト思フノデアリマス、内務大臣、大藏大
臣御列席ノ上ニ於テ伺ヒタイト思フテ居
ノデアリマス、併シモウ其點ハ止メテ置キ
マス、大體ノ御趣旨トスル所ハ了承イタシ
マシタカラ、尙ホ減税ニ伴ヒマシテ、減税
デアリマスカ、増税デアリマスカ、分リマ
セヌガ、此税制案ニ付キマシテハ、或ハサ
ウ云フ點ニ付テノ御考慮ヲ願ヒタイト思フ
○大橋新太郎君 晝前大藏大臣ニ御質問申

上ゲマシタ時、御答辯ヲ願ヒマシタガ、大
藏大臣ガ大藏大臣ヲ引キ受ケテ以來ノ色ミ
ノ御苦心ノ御話モアリマシテ、現ニ此一
般經濟界不振ノ結果、政府ノ歳入ガ一億何千万
圓自然減收ニナリマシテ、ソレヲ増税モ
セズ、公債モ發行セズニヤルト云フコトス
ラモ非常ナ御苦心デアルト云フコトハ、我
我モ側面ヨリ能ク存ジテ居リマス、殊ニ御
説明中ニアリマシタ義務費ガ非常ニ多ク
ナツテ居ルト云フコトハ、此參考資料ヲ頂戴
イタシマシタ中ニ、義務費ダケデモ一箇年
六億五千万圓モアル、此義務費ニ付キマシ
テモ、多少申上ゲタイコトガアリマスガ、
是ハ茲ニ言フベキ時デアリマセヌカラ申上
ゲマセヌガ、私ハ一般中央並ニ地方ノ財政
ヲ通ジマシテ一番金高ノ多イモノハ人件費
デヤナイカト思フ、此御配布ニナラレマシ
タ參考書類三十八號ノ人件費ハ、一般會計
デ二億七千万圓、賞與金、特別會計ヲ合セテ
六千何百万圓ト云フ僅ナ……、僅デハナイ、
三億何千万ノ金高デ、一般普通會計、特別
會計總テヲ合セマシタナラバ、人件費ト云
フモノガ最モ大キイモノデヤナイカト思フ
ノデアリマス、或ハ七八億ニモ達シテ居ヤ
シナイカト側面カラ想像スル、又地方經濟
ニ於キマシテモ、小學校教員初メ總テ合セ

マシタナラバ、人件費ナルモノガ相當大キ
イモノデヤナイカト思フ、サウシテ此事ニ
付キマシテハデスネ、會テ新聞デ拜見シタ
ノデスケレドモ、大藏大臣ハ此前、歐羅巴
大戰後、物價ガ騰貴シタカラシテ、俸給……
總テ俸給ナリ何ナリノ人件費ヲ増シタノデ
アリマス、物價ノ下落シタ今日ニ於テハ、
相當減ラシテ見ヤウト云フ御考モアツタヤ
ウニ新聞デハ拜見シマシタガ、色ミノ事情
ノ下ニ御中止ニナリ、更ニ衆議院ノ質問應
答ノ速記録ヲ拜見シマス、此問題ニ付テ
ハ、イツモ質問ガアルガ、自分シテハ人
件費ニ手ヲ著ケルコトハ言明ノ限りデナイ
ト云フ御辯明ニナツタコトヲ承知シテ居リ
マス、又今ノ社會政策ノ多イ所ニ、俸給生
活者ノアレヲ減ラスト云フコトハ、是ハ容
易ナラザル人心ニ影響ヲ及ボスモノデアリ
マスノデ、元來物價ガ騰々カラ俸給ヲ上ゲ
タノデ、物價ガ下ツタ爲ニ政府自ラモ切下
ル、地方ニ於テモ小學校ノ教員モ、歐羅巴
ノ大戰後、諸物價ガ騰々ニ伴フテ上ゲタニ
違ヒナイ、サウシテ又一方ニハ大藏省ノ所
得税ノ税制ヲ見テモ、千二百圓迄ノ俸給ノ
人ニハ所得税ヲ掛ケナイ、斯ウ云フ風ノコ
トモデスネ、其當時ノ物價ノ情勢カラ致シ
テ、サウ云フコトヲ法律案ニ御出シニナラ

レルト云フコトモ、決シテ私共、其當時ト
シテハ無理デヤナカラウト思フガ、既ニ經
濟界ガ今日ノヤウニ反動ヲ來シ、總テノ物
價ハ下リ、米價ハ下リ、農民ナリ一般民間
ノモノガ收入ガ減々時ニ俸給ノミヲ政府
ガ下ゲル勇氣ガナイ、單リ政府ガ下ゲル勇
氣ガナイト云フコトハ、政府ノ財政ノ上、
地方財政ノ上ニ影響ヲ及ボスダケナラバ宜
シウゴザイマスガ、ソレハ延イテ矢張り民
間ノ事業界デモ是ト同ジ譯デ以テ、下ゲル
コトガ出來マセヌ譯ニナリマス、是等ニ付
テハ此財政行政ノ整理案ヲ御拵ヘニナツタ
ナラバ、餘リ世論ガドウデアルトカ云フヤ
ウナコトデ、世評ナドヲ考慮ナサナイデ、
信ジテ爲スベキコトガアツタナラバ、大イニ
勇氣ヲ出シテ、オヤリニナルコトガ必要デ
ナイカト思フノデアリマス、現ニ我々兩院
議員ノ歳費モ、初メ八百圓デアツタモノガ千
五百圓ニナリ、更ニ三千圓ニナツタノデアリ
マス、是モ物價騰貴ノ情況等ヲ能ク御覽ニ
ナツテ、斯様ニ御上ゲニナツタノカモ知レマ
セヌガ、大臣ノ俸給ナドモ下ゲラレルヤウ
ニナリマスレバ、ソレガ民間ニモ矢張り反
響ヲ來シテ、全國總テガ緊張シテ眞面目ニ
ナルト云フヤウナコトニナラヌモノデアリ
マセウカ、此點ニ付キマシテハ、一ツ此行

政財政ノ整理ヲ爲サル上ニ、大イニ御考慮

ヲ願ヒタイト私ハ思フノデアリマス、更ニ

又行政竝ニ財政ノ此會ヲ御開キニナル時ニ

會員ヲドウ云フ風ニスルカ、是ハ政府ノ御

都合モアリマセウケレドモ、私ハ今ノ歐羅

巴大戰後、膨脹シタ所ノ中央財政竝ニ地方

財政ノ大緊縮ヲ唱ヘテ、無駄ヲセヌヤウニ

大整理ヲシヤウト云フヤウナ案ヲ御立テナ

サル調査會ハ思ヒ切ッテ政府ハ開放主義ニ、

矢張り反對黨デアラウガ何デアラウガ、總

テ朝野ノ名士ヲ網羅シテ、大組織デ以テ、

此會ガ決議シタルコトハ誰モ承認スルト云

フヤウナ工合ニ、雅量ヲ以テ廣イ範圍ニ此

調査會ノ人員ヲ御選定ニナリマシテ、サウ

シテ其調査會ノ決メタコトハ兩院ノ議員ト

雖モ矢張り協賛ヲ得ルダケノ價值スルモノ

ノ調査會ニ願ヒタイと思フ、從來屢、色々ノ

調査會ガ出來マシテモ其結果ノ見ルベキモ

ノト云フモノハ割合ニ少イノデアリマスカ

ラ、此度ハモウ國家存立ノ必要上カラ其會

ヲ御拵ヘニナル以上ハ、其會ヲシテ意義ア

ルモノニ一ツオヤリ下サルコトヲ切ニ希望

シテ止マヌノデアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 御注意、御忠

告ハ一々御尤デアリマシテ、能ク御忠告ノ

趣意ヲ體シマシテ實行イタスコトニ注意イ

タシマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 森田君ニ伺ヒ

マスルガ、只今、大藏大臣ガ御出席デゴザ

イマスガ、今日御質問ヲ爲サイマスカ

○森田福市君 時間ガ差支ナケレバヤリマ

スガ、ヤリ掛ケテ途中デ止メルコトハ非常

ニ困ルノデス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 皆様、如何デ

ゴザイマセウ、森田君ノ御質問ハ長サウニ

考ヘマスガ、如何デゴザイマスカ

〔今日ハ此程度デ〕異議ナシト呼フ

者アリ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 今日ハ是デ散

會イタシマス、明日ハ午前十時カラ開會イ

タシマス

午後四時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵柳澤 保惠君

副委員長 男爵阪谷 芳郎君

委員 公爵一條 實孝君

侯爵細川 護立君

子爵梅小路定行君

子爵大久保 立君

子爵大河内輝耕君

子爵裏松 友光君

水野鍊太郎君

伊澤多喜男君

男爵小畑大太郎君

男爵黒田 長和君

男爵井上 清純君

片岡 直溫君

藤田 四郎君

湯地 幸平君

馬場 鏑一君

長岡隆一郎君

後藤 文夫君

木村清四郎君

大橋新太郎君

森 平兵衛君

尾崎元次郎君

濱口儀兵衛君

田中 一馬君

小林 暢君

森田 福市君

國務大臣

大藏大臣 井上準之助君

內務大臣 安達 謙藏君

政府委員

內務省地方局長 次田大三郎君

內務書記官 岡田 周造君

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏省主稅局長 青木 得三君

大藏書記官 野津高次郎君

昭和六年三月二十五日印刷

昭和六年三月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局